

センター模擬試験

第2回

英語（筆記）

解説と解答

【英 語】

筆 記

【解答・採点基準】

(200点満点)

問題番号	設問	解答番号	正解	配点	自己採点		
第1問	A	問1	1	③	2		
		問2	2	①	2		
		問3	3	③	2		
	B	問1	4	③	2		
		問2	5	③	2		
		問3	6	④	2		
		問4	7	②	2		
	第1問 自己採点小計				(14)		
	第2問	A	問1	8	③	2	
			問2	9	④	2	
問3			10	④	2		
問4			11	④	2		
問5			12	③	2		
問6			13	②	2		
問7			14	②	2		
問8			15	④	2		
問9			16	④	2		
問10			17	②	2		
B		問1	18	③	3		
		問2	19	④	3		
		問3	20	③	3		
C		問1	21	③	4		
			22	⑤			
		問2	23	③	4		
			24	⑤			
		問3	25	①	4		
			26	⑤			
第2問 自己採点小計				(41)			

問題番号	設問	解答番号	正解	配点	自己採点	
第3問	A	問1	27	④	5	
		問2	28	③	5	
	B	29	③	6		
		30	①	6		
		31	②	6		
		32	①	6		
	C	33	③	6		
		34	①	6		
	第3問 自己採点小計				(46)	
	第4問	A	問1	35	②	6
問2			36	④	6	
問3			37	②	6	
B		問1	38	③	5	
		問2	39	②	5	
		問3	40	④	5	
第4問 自己採点小計				(33)		
第5問	問1	41	④	6		
	問2	42	①	6		
	問3	43	②	6		
	問4	44	②	6		
	問5	45	④	6		
第5問 自己採点小計				(30)		
第6問	A	問1	46	①	6	
		問2	47	②	6	
		問3	48	④	6	
		問4	49	①	6	
		問5	50	④	6	
	B	51	②	6		
		52	⑤			
		53	④			
		54	①			
		55	③			
第6問 自己採点小計				(36)		
自己採点合計				(200)		

【解説】

第1問 発音・アクセント問題

問題

A 発音問題

問1 ①

- ① bottle / bá:tl / 「びん」 / ú: /
- ② doctor / dá:ktər / 「医者」 / ú: /
- ③ month / mánθ / 「(暦の)月」 / ʌ /
- ④ socks / sá:ks / 「靴下」 / ú: /

したがって、③が正解。

問2 ②

- ① accept / əksépt / 「受け入れる」 / ks /
- ② accord / əkó:rd / 「一致する」 / k /
- ③ accuse / əkjú:z / 「告訴する」 / k /
- ④ accustom / əkɒstəm / 「慣れさせる」 / k /

したがって、①が正解。

問3 ③

- ① boots / bú:ts / 「ブーツ」 / ú: /
- ② goose / gú:s / 「ガチョウ」 / ú: /
- ③ hook / húk / 「留め金」 / ú /
- ④ smooth / smú:ð / 「なめらかな」 / ú: /

したがって、③が正解。

B アクセント問題

問1 ④

- ① collide / kəláid / 「衝突する」 第2音節
- ② event / ívént / 「出来事」 第2音節
- ③ level / lévl / 「レベル」 第1音節
- ④ restore / rɪstó:r / 「復元する」 第2音節

したがって、③が正解。

問2 ⑤

- ① cabinet / kəbənət / 「キャビネット」 第1音節
- ② intellect / íntələkt / 「知性」 第1音節
- ③ opponent / əpóunənt / 「相手」 第2音節
- ④ suddenly / sádnli / 「突然」 第1音節

したがって、③が正解。

問3 ⑥

- ① basketball / bæskətbò:l / 「バスケットボール」 第1音節
- ② demonstrate / démənstrèt / 「実証する」 第1音節
- ③ manicure / mánəkjùər / 「マニキュア」 第1音節
- ④ substantial / səbstənfəl / 「実質的な」 第2音節

したがって、④が正解。

問4 ⑦

- ① astonishment / əstá:nɪfmənt / 「驚き」 第2音節
- ② definitely / défənatli / 「明確に」 第1音節
- ③ identical / ɪdéntɪkl / 「同一の」 第2音節

④ reversible / rɪvə:rsəbl / 「逆にできる」 第2音節
したがって、②が正解。

第2問 文法・語法空所補充問題・
対話文空所補充問題・語句整序問題

問題

A 文法・語法空所補充問題

問1 I really wanted to see my uncle tomorrow, but I have other plans. So I cannot be there when he ⑧.

- ① came ② come
- ③ comes ④ will come

明日おじにとても会いたかったのですが、ほかに予定があるので。ですから、おじが来るときにそこに行くことはできません。

【ポイント】

時・条件の副詞節内での時制

時・条件を表す副詞節内では、未来に起こる事柄を現在形で表す。

[例] As soon as he **arrives**, we will get started.
彼が到着したらすぐに始めるつもりだ。

【他の選択肢について】

① came は過去時制なので、不可。② come は三人称単数現在を表す s が付いていないので、不可。
④ will come は未来を表す will を用いているので、不可。

問2 I happened to meet one of my old friends the other day, but he had changed so much that I hardly ⑨ him.

- ① admitted ② appreciated
- ③ realized ④ **recognized**

先日たまたま旧友の一人に会ったのだが、あまりに変わってしまったので、彼が誰なのかほとんど分からなかった。

【ポイント】

動詞 recognize

recognize は「(人が)誰であるか分かる／(物が)何であるか分かる」という意味を表す他動詞である。

[例] I **recognized** him the moment he entered the room.
彼が部屋に入ってきてすぐに、私は彼が誰なのかが分かった。

- ・ happen to-不定詞「たまたま～する」
- ・ the other day 「先日」
- ・ so+副詞[形容詞]+that SV ... 「とても～なので…」

・hardly 「ほとんど～ない」

【他の選択肢について】

① admitted は不可。admit は「(事実などを)認める／(入場などを)許可する」という意味を表す。

【例】 He **admitted** his guilt.
彼は自分の罪を認めた。

② appreciated は不可。appreciate は「(正しく)評価する／認識する／感謝する」という意味を表す。

【例】 I really **appreciate** what you've done for my kids.
子どもたちのためにしていただいたことを本当に感謝いたします。

③ realized は不可。realize は「はっきり理解する／(希望などを)実現する」という意味を表す。

【例】 I didn't **realize** that I was wrong.
私は自分が間違っていることに気づいていなかった。

問3 Doctors cannot find a cure for an illness **10** they have identified the cause.

① since ② so ③ that ④ **until**
医師は、原因が特定できて初めて、病気の治療法を見つけることができる。

【ポイント】

not ~ until ...

not ~ until ... は、「…して初めて～／…まで～しない」という意味を表す。until は接続詞・前置詞である。本問は、接続詞として用いられている。

【例】 A decision will **not** be made **until** everyone is in agreement.
全員が同意して初めて決定が下される。

- ・cure 「治療(法)」
- ・illness 「病気」
- ・identify 「特定する／突きとめる」

【他の選択肢について】

① since は不可。since が接続詞として用いられる場合、「～して以来／～なので」という意味を表す。

【例1】 They've been friends **since** they met in elementary school.
彼らは小学校で知り合ってから、ずっと友達である。

【例2】 **Since** we could not trust him, we didn't employ him.
彼を信用することができなかったため、採用しなかった。

② so は不可。so が接続詞として用いられる場合、「だから／その結果」という意味を表す。

【例】 The cat seemed hungry, **so** I fed it.
その猫がおなかを空かせているように見えたので、私は食べ物をあげた。

③ that は不可。that が接続詞として用いられる場合、通例「…ということ」という意味を表し、名詞節を導く。

【例】 My only hope is **that** I will see my parents again.
再び両親に会うことが、私の唯一の願いです。

問4 The babies are sleeping in the next room. So please keep your voice down **11** wake them.

① enough to ② not in order to
③ only to ④ **so as not to**
赤ん坊が隣の部屋で寝ています。ですから、起こさないように声を小さくしてください。

【ポイント】

so as to-不定詞

so as to-不定詞は「～するために」という意味を表す不定詞の副詞用法である。「～しないために／～しないように」という意味を表す場合は so as not to-不定詞の形を用いる。

【例1】 We went early **so as to** get good seats.
私たちは良い席をとるために早めに出かけた。

【例2】 We talked quietly **so as not to** be overheard.
私たちは誰かに聞かれないように静かに話をした。

- ・keep A down 「A(光・音など)を弱くしておく」
- ・wake 「目覚めさせる」

【他の選択肢について】

① enough to は不可。形容詞[副詞]+enough to-不定詞の形で「～するのに十分…」という意味を表す。

【例】 It was warm **enough to** eat outdoors.
外で食事ができるほど暖かかった。

② not in order to は不可。in order to-不定詞は so as to-不定詞と同様に「～するために」という意味を表すが、「～しないために」という意味を表す場合は、in order not to-不定詞の語順になる。

【例】 Leave early **in order not to** be late.
遅れないように早めに出なさい。

③ only to は不可。only to-不定詞は「ただ～す

るためだけに／(結局)～するだけだ」という意味を表す。

[例1] People often praise others **only to be** praised.

人はよく、ただ自分が褒められたいために他人を褒める。

[例2] They worked hard to carry out the project, **only to fail**.

彼らはその計画を実行するために一生懸命に頑張ったが、結局失敗に終わった。

問5 I cannot attend John's birthday party this Saturday. My father has **12** me from going to any more parties.

- ① allowed ② derived
③ **forbidden** ④ refused

今度の土曜日に開かれるジョンの誕生日パーティーに行くことはできません。私がこれ以上パーティーに行くことを父が禁じたのです。

【ポイント】

動詞 forbid

forbid は「禁じる」という意味を表す他動詞である。forbid A from ~ing で「A が～するのを禁じる」という意味を表す。また、forbid A to-不定詞の形で同様の意味を表すこともある。

[例1] He **forbade** his employees **from mentioning** the subject again.

彼は従業員にその話題に二度と触れないようにと言った。

[例2] My doctor **has forbidden** me **to smoke**.

主治医は私に煙草を吸うことを禁じた。

・ attend 「出席する」

【他の選択肢について】

① allowed は不可。allow は、allow A to-不定詞で「A が～するのを許す」という意味を表す。

[例] His parents won't **allow** him **to stay out late**.

彼の両親は、彼が遅くまで外出しているのを決して許さないだろう。

② derived は不可。derive は「引き出す／由来する」という意味を表す。

[例] I **derived** the conclusion from several facts.
いくつかの事実から判断して結論を導いた。

④ refused は不可。refuse は、refuse to-不定詞で「～するのを拒否する／断る」という意味を表す。

[例] Mary **refused to marry** Tom.

メアリーはトムと結婚するのを拒否した。

問6 I wish I had helped her at that time. If I'd known beforehand how bad her situation would be, I **13** to help her.

- ① would go ② **would have gone**
③ wouldn't go ④ wouldn't have gone

そのとき彼女を助けてあげればよかった。彼女の置かれている状況がこんなにも悪くなると事前に分かっていたら、僕は彼女を助けに行っただろう。

【ポイント】

仮定法過去完了

If S' had+過去分詞 ..., S would[could / might] have+過去分詞 ~. の形で「S' が…したなら、S は～しただろう[できたらろう/したかもしれない]」という意味を表す。過去に起こった事実に対して、それと反する内容を想定して述べる場合に用いられる。

[例] If I **had arrived** ten minutes earlier, I **could have caught** the train.

もし10分早く着いていたら、その列車に乗れただろう。

- ・ S wish (that) S' had+過去分詞「S' が～すればよかったのに」
- ・ beforehand 「事前に」
- ・ situation 「状況」

【他の選択肢について】

① would go, ③ wouldn't go は、仮定法過去完了の形になっていないので、不可。④ wouldn't have gone は文脈と合わないので、不可。

【関連】

仮定法過去

現在の事実に反する内容や、起こる可能性が低い事柄を述べる場合には、仮定法過去が用いられる。仮定法過去は、If S'+動詞の過去形 ..., S would [could / might]+動詞の原形 ~. という形で「S' が…するなら、S は～するだろう[できるだろう/するかもしれない]」という意味を表す。

[例] If you **went** to see him, he **would be delighted**.

あなたが彼に会いに行けば、彼は喜ぶだろう。

問7 I can't **14** how to use this machine. I need to read the manual.

- ① build up ② **figure out**
③ get down ④ put on

この機械の使い方が分からない。マニュアルを読

む必要がある。

【ポイント】

イディオム **figure out A / figure A out**

figure out A / figure A out は、「A を理解する／A を解決する」という意味を表す。

[例] I cannot **figure out** how to get there.
そこへの行き方が分からない。

・ manual 「マニュアル／取扱説明書」

【他の選択肢について】

① build up は不可。build up A / build A up で「A を築き上げる／A を増大させる」という意味を表す。

[例] He **built up** the store from nothing.
彼は何もないところからその店を築き上げた。

③ get down は不可。get down A / get A down で「A を降ろす／A を書き留める」などの意味を表す。

[例] Could you **get down** the book from the shelf?

棚からその本を降ろしていただけますか？

④ put on は不可。put on A / put A on で「A を身に着ける」という意味を表す。

[例] I **put** my glasses **on**.
私はメガネをかけた。

問8 Luke is too **15** to talk about his past achievements. He never boasts.

- ① arrogant ② egoistic
③ independent ④ modest

ルークはとても控えめで、自分の過去の業績について語ることがない。彼は決して自慢しない。

【ポイント】

形容詞 **modest**

modest は「控えめな／謙虚な」という意味を表す形容詞である。

[例] He is **modest** about his success.
彼は成功を鼻にかけない。

・ achievement 「業績」
・ boast 「自慢する」

【他の選択肢について】

① arrogant は、「傲慢な」という意味を表す形容詞なので、不可。

[例] He is unbearably **arrogant**. I don't want to be with him.
彼は耐え難いほど傲慢だ。私は彼といっしょにいたくない。

② egoistic は、「自己中心的な」という意味を表す形容詞なので、不可。

[例] Maybe I'm **egoistic**, but I do it for myself, not for anyone else.

自己中心的かもしれないが、私はそれを他の誰のためでもなく、自分のためにやるのだ。

③ independent は、「独立した／自立した」という意味を表す形容詞なので、不可。

[例] She was too **independent** to accept the offer.

彼女は自立心が強すぎるため、その申し出は受けなかった。

問9 “How much are these?”

“The cups and saucers cost \$20 and \$10 **16**.”

- ① admirably ② considerably
③ immediately ④ **respectively**

「これらはいくらですか？」

「カップとお皿がそれぞれ20ドルと10ドルです」

【ポイント】

副詞 **respectively**

respectively は、「それぞれ／めいめいに」という意味を表す副詞である。

[例] The first, second, and third prizes went to Naoko, Ayako, and Yoko **respectively**.

1等賞、2等賞、3等賞は、それぞれナオコ、アヤコ、ヨウコの手に渡った。

・ saucer 「(カップの)受け皿」

【他の選択肢について】

① admirably は、「見事に／すばらしく」という意味を表す副詞なので、不可。

[例] John coped **admirably** with a difficult situation.

ジョンは困難な状況に見事に対処した。

② considerably は、「かなり／相当に」という意味を表す副詞なので、不可。

[例] The temperature dropped **considerably**.
気温がかなり下がった。

③ immediately は、「即座に」という意味を表す副詞なので、不可。

[例] She answered the question **immediately**.
彼女はその質問に即座に答えた。

問10 “Which position do you prefer sleeping in?”

“ **17** my back.”

- ① For ② **On** ③ To ④ With
「どんな姿勢で寝るのが好きですか？」

「仰向けです」

【ポイント】

イディオム on one's back

on one's back は「仰向けに」という意味を表す。なお、on one's stomach は「うつ伏せで」という意味を表す。ここでの on は「接触」を表す。

[例1] He lay on his back and looked up at the sky.

彼は仰向けに横たわり、空を見上げた。

[例2] The baby was sleeping on her stomach.

その赤ちゃんは、うつ伏せになって眠っていた。

- ・ Which position do you prefer sleeping in? 「どんな姿勢で寝るのが好きですか?」 Which position は, sleep in the position の the position の部分が which position となって前に出たと考えればよい。

B 対話文空所補充問題

問1 18

ジェーン：ケン、今週末は何をしたいと思いますの?

ケン：天気はどうなのかなあ?

ジェーン：予報では晴れらしいわ。③ 一緒に浜辺に行かない?

ケン：たぶん混んでいるだろうね。それよりドライブに行きたいな。

- ・ What is S like? 「S はどのようなもの[人]か?」
- [例] What is your new boss like?
新しい社長はどんな人ですか?
- ・ forecast 「天気予報」 (=weather forecast)
- ・ Why don't we + 動詞の原形? 「一緒に～しませんか?」
- ・ I'd rather + 動詞の原形 「むしろ～したい」
- [例] I'd rather go today than tomorrow.
明日というよりむしろ今日行きたい。
- ・ go for a drive 「ドライブに出かける」

【他の選択肢について】

- ① 彼らの言っていることを信じるの?
- ② ドライブに出かけることがお勧めよ。
- ④ 傘を持って行くべきだわ。

【解法のヒント】

ケンの「天気はどうなのかなあ?」という発言を受けて、ジェーンが「予報では晴れらしいわ」と述べた後に何と言ったかを問う問題。ケンが It'll

probably be crowded. 「たぶん混んでいるだろうね」と答えているので、It が指す具体的な場所をジェーンが挙げたと考えられる。It が the beach 「浜辺」を指すと考えれば会話が自然な流れになる。よって、正解は③。

問2 19

ユカ：この島でハイキングをするのに何か情報はありますか?

受付係：はい、ございます。至るところに自然歩道があります。パンフレットを差し上げましょう。

ユカ：パンフレット?

受付係：はい、自然歩道の地図と解説の載っている小冊子です。④ 日本語版もあります。

ユカ：まあ、それはとても役に立つわ。ありがとう。

- ・ trail 「自然歩道」 人・動物が通って自然にできた道。
- ・ all over 「至るところに」
- ・ brochure 「パンフレット」
- ・ booklet 「小冊子」
- ・ note 「解説/注釈」

【他の選択肢について】

- ① 地図の見方をご存知ですか?
- ② これまでに自然歩道を歩いたことはありますか?
- ③ 私を案内して欲しいのですが。

【解法のヒント】

自然歩道の情報を求めたユカに対して、受付係が「地図と解説の載っている小冊子です」とパンフレットのことを説明した後で何と言ったかを問う問題。ユカが Oh, that'd be very helpful. 「まあ、それはとても役に立つわ」と言っているため、that が④の one in Japanese 「日本語版のパンフレット」を指すと考えれば、会話が自然な流れになる。よって、正解は④。

問3 20

医者：どうなさいましたか?

アン：昨日買い物に行って、袋をたくさん運ばなければならなかったのです。それが私には重すぎたのだと思います。

医者：③ それで腰を痛めたということですか?

アン：はい。あまりにも痛いので、かがむことがほとんどできないのです。

- ・ What seems to be the problem? 「どうなさいま

したか？」医者が患者に症状を尋ねるときの表現。

- ・ go shopping 「買い物に行く」
- ・ hurt 「痛める」
- ・ back 「腰／背中」
- ・ ache 「痛む」
- ・ so ~ that S can + 動詞の原形 「あまりにも～なのでSは…できる／Sが…できるほど～だ」

[例] I'm so excited that I can hardly sit still.
わくわくしてじっと座ってられないよ。

- ・ bend down 「かがむ」

【他の選択肢について】

- ① これからショッピングにお出かけですか？
- ② あなたはどれも悪くないと思いますよ。
- ④ そんなにたくさん買わない方がいいでしょう。

【解法のヒント】

「買い物に行くととても重い荷物を運んだ」と言うアンに対して医者が何と言ったかを問う問題。空所の後でアンが Yes. It aches so much that I can hardly bend down. 「はい。あまりにも痛いので、かがむことがほとんどできないのです」と答えている。空所に③を入れると It が My back 「腰」を指し、会話が自然な流れになる。よって、正解は③。

C 語句整序問題

問1 21 22

フロント係：はい、フロントです。ご用件を承ります。
客：あの、こちら 203 号室です。エアコンの調子がどこか悪いようなんです。

【正解】

There seems to be something wrong with
① ③ ② ⑤ ④
the air-conditioning.

- ・ How may I help you? 「ご用件を承ります」 ホテルでフロント係が宿泊客に「いらっしゃいませ」の意味で用いることもある。
- ・ air-conditioning 「エアコン／空調(設備)」

【ポイント】

1. There is something wrong with A

There is something wrong with A で「A はどこか調子が悪い」という意味を表す。

[例] There is something wrong with my smart phone.

私のスマートフォンはどこか調子が悪い。

2. seem to-不定詞

seem to-不定詞は「～するようだ」の意味を

表す。本問では、There seems to be ~ という形になっている。

[例1] He **seems to** know the secret.
彼はその秘密を知っているようだ。

[例2] **There seems to be** no cure for the disease.
その病気の治療法はないようだ。

問2 23 24

サリー：夫は肉を食べるのが大好きで、プロックリーが嫌いなんです。

栄養士：なるほど。子どもの頃によく食べる物が、大人になってからの食べ物の好みに影響することがあるんです。

【正解】

The foods we eat regularly when we are
② ③ ① ⑤ ④
children can influence our food preferences as adults.

- ・ influence 「影響を及ぼす」
- ・ preference 「好み」
- ・ as adults 「大人になって」

【ポイント】

接触節

名詞の直後に置かれた節が、その名詞を修飾する場合がある。このような節を接触節と呼ぶ。本問では、we eat regularly という節が接触節となつて、直前の foods を修飾している。foods の後ろに関係代名詞の which か that を補って考えてもよい。

[例] They have found the purse **she** lost.
彼らは彼女が失くした財布を見つけた。

問3 25 26

なんて混んでるんだ！ あんなに大勢の人がサッカースタジアムに入ろうとしている。

【正解】

There are so many people trying to get into
③ ① ② ⑤ ④
the football stadium.

- ・ What a crowd! 「なんて混んでるんだ！」
- ・ football stadium 「サッカースタジアム」

【ポイント】

1. There is[are] A ~ing

There is[are] A ~ing で「A が～している」という意味を表す。

[例] **There are** three people **working** there.

そこでは3人が働いている。

2. try to-不定詞

try to-不定詞は「～しようとする／努力する」という意味を表す。

[例] He **tried to** write to her, but he couldn't.
彼は彼女に手紙を書こうとしたが、できなかった。

【関連】

There is[are] A+過去分詞

There is[are] A+過去分詞で「Aが～されている」という意味を表す。

[例] **There were** two people **killed** in the accident.
その事故で2名の死者が出た。

第3問 文意把握読解問題

問題

A 意味類推問題

問1 **27**

【全訳】

ジェイソン：おはよう、ビル。あれっ、疲れているようだね。どうしたの？

ビル：やあ、ジェイソン。近頃レストランでの仕事が本当に忙しいんだ。昨日は夜勤をするはずの同僚の1人が来られなくなってね。インフルエンザにかかってしまったんだよ。だから、真夜中過ぎまで、ずっと彼の仕事をしなければならなかったんだ。午前3時にやっと寝ることができたんだ。

ジェイソン：うわー、それは長い1日だったね。じゃあ、今日の試験のための勉強ができなかったんじゃないの？

ビル：そう、全然できなかったよ。wing itするしかないね。

【語句・構文解説】

- ・ What's up? 「どうしたの？」
- ・ be busy ~ing 「～するのに忙しい」
- ・ lately 「最近」
- ・ colleague 「同僚／仲間」
- ・ be supposed to-不定詞 「～することになっている」

[例] He **is supposed to** come at seven o'clock.

彼は7時に来ることになっている。

- ・ get the flu 「インフルエンザにかかる」
- ・ until after A 「Aの後まで」
- ・ not ... until ~ 「～になってようやく…する」

- ・ guess (that) SV ... 「…だと推測する」
- ・ No, not at all. 「そう、全然できなかった」 (=No, I wasn't able to study for today's exam at all.)
- ・ wing it 「ぶっつけ本番でやる／準備なしで行う／即興で行う」

[例] I didn't know I'd have to make a speech — I just had to **wing it**.

スピーチをしなければならないことを知らなかった。だから、ぶっつけ本番でやらなければならないなかった。

【設問解説】

この状況で、wing it は、**27** 試験を受けることを意味する。

- ① 元気に
- ② 誰かの代わりに
- ③ 何の問題もなく
- ④ 準備なしに

ジェイソンが、疲れた顔をしているビルにその原因を聞くと、「昨夜は、予定外に夜中過ぎまで働き、寝たのが午前3時になった」と答える。それを聞いたジェイソンが「今日の試験のための勉強ができなかったんじゃないの？」と尋ねたのに対し、ビルは No, not at all. 「そう、全然できなかったよ」と言った後、I'll have to wing it. と言っている。I'll have to wing it. が「準備なしで試験を受けなければならない」という意味を表すと考えれば自然な流れとなるので、正解は④。その他の選択肢は、会話の流れに合わないの、不可。

問2 **28**

【全訳】

アンダーソンが支持する計画は、chimerical ことだと思います。まず、それを実行するための十分な予算がありません。さらに、私たちのほとんどが現在の仕事で忙しすぎるため、それを行う十分な時間がありません。彼自身3つのプロジェクトに取り組んでいます。彼にはしなければならないことがすでにあまりにも多くあるので、新しいプロジェクトの先頭に立つことはできません。

【語句・構文解説】

- ・ the plan Anderson has advocated 「アンダーソンが支持する計画」 Anderson has advocated は the plan を修飾する接触節。advocate 「支持する／主張する」
- ・ chimerical 「奇想天外な／想像上の」
- ・ in the first place 「まず第一に」
- ・ budget 「予算」

・ carry out A / carry A out 「A を実行する」

【例】 Where **are** chemical experiments **carried out**?

化学実験はどこで行われますか？

- ・ moreover 「さらに」
- ・ present 「現在の」
- ・ work on A 「A に取り組む」
- ・ lead 「先頭に立って行く」

【設問解説】

この状況で、chimerical は、**28** を意味する。

- ① 可能な
 - ② やりがいのある
 - ③ 非現実的な
 - ④ 急を要する
- ・ urgent 「緊急の」

「アンダーソンが支持する計画は、chimerical ことだと思います」と言った後に、「実行するための予算がない」「私たちのほとんどは、現在の仕事が忙しすぎて計画を行う時間がない」「彼はしなければならぬことが多すぎるので、新しいプロジェクトの先頭に立てない」と述べている。これらは、この計画が「非現実的で実行不可能である」ことの原因と考えられるので、③が正解。その他の選択肢は、文脈に合わないので、いずれも不可。

B 意見要約問題

29

【全訳】

アリー：日本文化のさまざまな側面が、外国人にさまざまな影響を与えてきたと思います。初めは、ヨーロッパの人々は日本から輸入された物を見てびっくりしたでしょうが、少しずつ多くの人がそれらに興味を持つようになりました。彼らは着物の幾何学的模様や浮世絵の単純な構図に、他に類を見ない特徴を見つけました。彼らは日本のデザインの要素を自分の作品に取り入れようと思いました。しかし、近年、非常に多くの日本の漫画がさまざまな言語に翻訳され、それらをヨーロッパの若者が楽しんでいます。そして、今日のヨーロッパの若者は、洗練された漫画のストーリーの独創的なキャラクターに興味を持っているように思えますが、それらは子どもを魅了するばかりでなく、大人の興味も引くのです。

ティム：あなたは、**29** と言いたいのですか？

【語句・構文解説】

- ・ aspect 「側面」
- ・ have a ~ influence on A 「A に～な影響を与える」

【例】 The Internet **has a powerful influence on** young people.

インターネットは若者に強力な影響を与える。

- ・ at first 「初めは／最初のうちは」
- ・ import 「輸入する」
- ・ little by little 「少しずつ」
- ・ become interested in A 「A に興味を持つようになる」
- ・ unique 「特有の／類を見ない」
- ・ feature 「特徴」
- ・ geometric 「幾何学的な」
- ・ pattern 「模様」
- ・ composition 「構図」
- ・ introduce A into B 「A を B に取り入れる／導入する」

【例】 New methods **were introduced into** the hospital.

新しい方式がその病院に取り入れられた。

- ・ element 「要素」
- ・ work 「作品」可算名詞であることに注意。
- ・ translate A into B 「A を B に翻訳する」

【例】 He **translated** the novel **into** Japanese.

彼はその小説を日本語に翻訳した。

- ・ various 「さまざまな」
- ・ original 「独創的な」
- ・ character 「キャラクター／登場人物」
- ・ sophisticated 「洗練された」
- ・ not only A but also B 「A ばかりでなく B も」
- ・ fascinate 「魅了する」
- ・ hold the interest of A 「A の興味を引く」

【設問解説】

29

- ① ヨーロッパ人はアジア人よりも日本文化に興味がある
- ② 今日のヨーロッパ人は日本の漫画ではなく日本の美術工芸に心を引かれる
- ③ 日本文化の価値を認めるヨーロッパ人は昔もいたし、今もいる
- ④ ヨーロッパの若者は日本人の若者よりも日本の漫画を多く読む

アリーの発言の第2文に At first, people in Europe may have been surprised to see the things

which were imported from Japan, but little by little more people became interested in them. 「初めは、ヨーロッパの人々は日本から輸入された物を見てびっくりしたでしょうが、少しずつ多くの人がそれらに興味を持つようになりました」とあり、第5文に、In recent years, however, a great number of Japanese *manga* have been translated into various languages and enjoyed by young Europeans. 「しかし、近年、非常に多くの日本の漫画がさまざまな言語に翻訳され、それらをヨーロッパの若者が楽しんでいます」とあるので、㊸が正解となる。

30

【全訳】

アリー：そうです。

ティム：僕は、アメリカの有名な建築家であるフランク・ロイド・ライトを皆さんに思い出してもらいたいです。彼は20世紀の初め頃に日本を訪れ、宮殿、寺、神社のような古い日本建築から多くのことを学びました。1920年代初期に、彼は再び日本を訪れ、東京の帝国ホテルの計画および設計をしました。およそ50年後にそのホテルは改築されたので、古い建物の痕跡はまったく残っていませんが、彼によって設計されたホテルの正面玄関は、現在、ある博物館に保存されています。彼の作品の特徴の1つは、建物が周りの環境と調和しているということで、それは彼が日本を旅したことから学んだことです。ですから、寺や神社のような大きな建物もまた外国人に多大な影響を与えてきたということを私は強調したいのです。

スコット：あなたのおかげで、30ということをお私達は思い出しました。

【語句・構文解説】

- ・ ask A to-不定詞「Aに～するように頼む」
- ・ Frank Lloyd Wright「フランク・ロイド・ライト」(1867-1959) アメリカの建築家。代表作にアメリカのグッゲンハイム美術館やカウフマン邸(落水荘)、日本の旧帝国ホテルなどがある。
- ・ architect「建築家」
- ・ A such as B「たとえばBのようなA」
- ・ palace「宮殿」
- ・ temple「寺」

- ・ shrine「神社」
- ・ the early 1920s「1920年代初期」
- ・ the Imperial Hotel「帝国ホテル」
- ・ trace「痕跡/跡」
- ・ structure「建物/構造」
- ・ remain「残る」
- ・ the main entrance hall「正面玄関」
- ・ preserve「保存する」
- ・ be in harmony with A「Aと調和している」
- ・ surroundings「周りの環境」
- ・ emphasize「強調する/重点を置く」
- ・ the fact that SV ...「…という事実」that以下はthe factの内容を表す同格の名詞節。
- ・ architectural「建築上の」
- ・ remind A of B「AにBを思い出させる」

【例】 This picture **reminds** me **of** the vacation I spent with her last year.

この写真を見ると、去年彼女と過ごした休暇のことを思い出す。

【設問解説】

30

- ① 伝統的な日本建築にも非常に注意が払われてきた
- ② 帝国ホテルの様式は、日本ではなくアメリカで生まれた
 - ・ originate in A「Aで生じる/起こる」
- ③ ライトは日本の様式の建物しか作らなかった
 - ・ nothing but A「Aだけ」
- ④ 日本文化について学ぶために、日本の博物館を訪れるべきだ

ティムの発言の最終文 So I'd like to emphasize the fact that large architectural structures such as temples and shrines also have had a great influence on foreign people. 「ですから、寺や神社のような大きな建物もまた外国人に多大な影響を与えてきたということを私は強調したいのです」より、①が正解となる。

31

【全訳】

ティム：はい。

スコット：アリーとティムは日本の生み出した物質的なものに注目したように思えますが、僕は、最近日本が、日本の独特なものの見方や伝統的な倫理観を外国に広め始めていることに気づきました。例えば、故ワンガリ・マータイさんがとても気に入っていた「モッタイナイ」という概念

は、環境に優しい時代にはぴったり合っています。cuteを意味する「カワイイ」という言葉は、女の子の色使い鮮やかなファッションとともに、海外に広がっています。日本人は、自然と調和すること、攻撃的でなく謙虚であること、古い事物を守ろうとすることなど、賞賛に値する美德を持っていることをもっと誇りに思うべきだと私は思います。日本の行動様式は、地球規模の問題を解決することに大いに貢献するでしょう。

アリー：あなたは、**31**と saying しているのですね。
スコット：その通りです。

【語句・構文解説】

- ・ physical 「物質的な」
- ・ produce 「生み出す」
- ・ recently 「最近」
- ・ export 「(文化・思想などを)広める／輸出する」
- ・ ethics 「倫理観」
- ・ concept 「概念」
- ・ the late A 「故 A」
- ・ Wangari Maathai 「ワンガリ・マータイ」(1940-2011) ケニア出身の女性環境保護活動家。2004年にノーベル平和賞を受賞。
- ・ be suited to A 「A に合っている／適している」

【例】 This book **is suited to** girls.

この本は女の子向きだ。

- ・ eco-friendliness 「環境への優しさ」
- ・ spread 「広がる」
- ・ overseas 「海外に」
- ・ be proud of A 「A を誇りに思う」
- ・ admirable 「賞賛に値する」
- ・ virtue 「美德」
- ・ harmonize with A 「A と調和する」
- ・ aggressive 「攻撃的な」
- ・ modest 「謙虚な」
- ・ contribute to A 「A に貢献する」

【例】 We hope everyone will **contribute to** the discussion.

全員がこの議論に貢献してくれることを望んでいます。

- ・ a great deal 「とても」
- ・ global 「地球規模の／世界的な」

【設問解説】

31

① 日本人は、自分たちの言語がすばらしい、とい

う噂を進んで広める

- ・ be willing to-不定詞「進んで～する」
- ・ the word that SV ... 「…という噂」

② 日本人の考え方は、ますます外国人に受け入れられるようになってきている

- ・ acceptance 「受け入れられること／受容」

③ 人々は、全世界の問題を解決するために、日本語を学ぶべきだ

④ 日本人の考え方はあまりに時代遅れで、今日の世界では役に立たない

スコットは第1文で..., but I've noticed that Japan has recently started to export its unique ways of looking at things and its traditional ethics. 「…、僕は、最近日本が、日本の独特なものの方や伝統的な倫理観を外国に広め始めていることに気づきました」と述べた後で、「モッタイナイ」や「カワイイ」などの考え方が海外でますます受け入れられている、と述べている。よって、②が正解となる。

C 文補充問題

【出典】 Cover to Cover 3 (Oxford)

【全訳】

それはびっくりするようなニュースだった。シンガポールの新聞 *The Straits Times* によると、シンガポール動物園ではシミア・ミナとして知られている、非常に知能の高い2匹のサルを公開する予定しているということであった。このサルはゴリラやチンパンジーにごく近い種で、人間と同様に、互いに話をし、道具を使い、直立歩行をすると信じられていた。この記事は4月1日に掲載されたのだが、読者の中にはこの冗談にだまされた人もいた。

エイプリル・フールは、いたるところで人々に楽しまれている、面白くて広く行き渡った伝統である。フランスでは4月1日は *Poisson d'Avril* と呼ばれるが、これは「4月の魚」の意味だ。子どもたちは紙で作った魚を友達の前中に貼り付けて、「*Poisson d'Avril*」と叫んで楽しむ。イングランドでは、いたずらをしてもいいのは午前中だけになっている。いたずらをされた人は noodle(まぬけ)である。スコットランドでは、いたずらをされた人は「April gowk」つまり cuckoo bird(愚か者)と呼ばれる。

エイプリル・フールの起こりについての話はたくさんある。最も広く信じられている話の1つはヨーロッパで新しい暦を取り入れたことに関するものだ。1582年、フランスはユリウス暦から、今日広く使われているグレゴリオ暦に切り替えた最初の国と

なった。この新しい暦では新年の始まりは、3月の終わりから1月1日に変った。中には新しい暦のことを知らないか、またはそれを無視して4月1日に新年の始まりを祝い続ける人もいた。新年を1月1日に変えてその日を祝うようになった人々は、彼らをエイプリル・フール(4月ばか)と呼んで、彼らにいたずらをしてからかった。

エイプリル・フールの悪ふざけは、面白いものでなければならず、他の人を傷つけるものであってはならない。最高の冗談は、どんな人でも笑わせ、からかわれた本人さえ笑わせるものでなければならぬ。面白い悪意のないいたずらの良い例は、ミルクに食品用着色料を入れたり、硬貨を歩道に接着剤で張り付けたりするというものだ。

【語句・構文解説】

◆第1段落◆

- ・astounding 「びっくりさせるような」
- ・a pair of A 「(2つで) 1組の A / つがいの A」
- ・highly 「非常に / 高度に」
- ・intelligent 「高い知能を持つ」
- ・ape 「サル / 類人猿」 ゴリラ, チンパンジーなどを含む。
- ・known as A 「A として知られている」 known as *simia mina* は、直前の highly intelligent apes を修飾する過去分詞句。
- ・be believed to-不定詞 「～すると信じられている」
- ・close 「近い」
- ・relative 「同類の動物」
- ・one another 「お互い」 (=each other)
- ・walk upright 「直立歩行する」
- ・article 「記事」
- ・publish 「掲載する / 発表する」
- ・be taken in 「だまされる」

[例] We **were** completely **taken in** by his charming and confident manner.

私たちは、彼の魅力的で自信たっぷりの態度に完全にだまされた。

◆第2段落◆

- ・April Fool's Day 「エイプリル・フール / 4月ばかの日 / 万愚節」
- ・delight in ~ing 「～して楽しむ」
- ・stick A to B 「A を B に貼り付ける」
- ・play a trick 「いたずらをする / 悪ふざけをする」
- ・trick 「いたずらをする / 悪ふざけをする」
- ・noodle 「まぬけ / ばか」
- ・gowk 「カッコウ / まぬけ」

- ・cuckoo bird 「愚か者 / まぬけ / カッコウ」

◆第3段落◆

- ・a number of A 「たくさんの A / いくつかの A」
- ・source 「起こり / 起源」
- ・concern 「関する」
- ・switch from A to B 「A から B へ切り替える」

[例] Duval could **switch** easily **from** French to English.

デュヴァルは簡単にフランス語から英語へと切り替えることができた。

- ・the Julian calendar 「ユリウス暦」 ジュリアス・シーザーが紀元前 46 年に定めた旧太陽暦。
- ・the Gregorian calendar 「グレゴリオ暦」 1582 年にグレゴリウス 13 世がユリウス暦を改正した現在の太陽暦。
- ・the one widely used today 「今日広く使われているもの」 この部分は前の the Gregorian calendar を言い換えたもの。the one は the calendar を表し、widely 以下は the one を修飾する過去分詞句。
- ・either A or B 「A か B のどちらか」
- ・ignore 「無視する」
- ・continue to-不定詞 「～し続ける」
- ・observe 「(祝祭日などを) 祝う」
- ・those who ... 「…する人々」
- ・celebrate 「祝う」

◆第4段落◆

- ・practical joke 「悪ふざけ」
- ・the person on whom the joke is played 「からかわれた人」 on 以下は the person を修飾する関係代名詞節。
- ・harmless 「悪意のない / 無害の」
- ・coloring 「着色料」
- ・glue 「接着剤でくっつける」
- ・sidewalk 「歩道」

【設問別解説】

32

- ① いたるところで人々に楽しまれている、面白くて広く行き渡った伝統である
- ② 世界中で国民の休日として祝われている
- ③ かつては人々がお互いをだまし合う日だったが、もはやそうではない
- ④ かつては子どもが年上の人々にいたずらをしてはいけない日だった

第2段落は、「エイプリル・フールがどういう日であるか」について述べている。空所 32 の後ろでは、「フランス、イングランド、スコットランドなど

さまざまな地域で、エイプリル・フールに人々がいたずらをして楽しんでいる」ことが述べられている。よって、①が正解。なお、エイプリル・フールが「国民の休日」であるとは書かれていないため、②は不可。③と④は、文章の流れに合わないため、不可。

33

- ① 天文学的な知識が発展したこと
・astronomical「天文学的な」
- ② 政治制度が改良されたこと
- ③ ヨーロッパで新しい暦を取り入れたこと
- ④ 従来の暦を使い続けたこと
・preservation「維持」
・conventional「従来の／昔ながらの」

第3段落は「エイプリル・フールの起こり」について述べているが、空所 33 の後ろには、「フランスで、新暦のグレゴリオ暦を取り入れた際に、依然として旧暦の新年を祝っている人をからかってエイプリル・フールと呼んだ」と説明されている。よって、③が正解。①②④は、いずれも文章の流れに合わないため、不可。

34

- ① 面白いものでなければならず、他の人を傷つけるものであってはならない
- ② ふざけていないもので、理解するのが難しいものでなければならぬ
- ③ みんなが笑うようなものであってはならない
- ④ 食べ物やお金に関するものであってはならない

第4段落は、「エイプリル・フールのいたずらはどのようなものが望ましいか」について述べている。空所 34 の後ろには、「最高の冗談とは、からかわれた本人でさえ笑ってしまうような、悪意のないもの」と書かれているので、①が正解。②③④は、いずれも文章の流れに合わないため、不可。

第4問 図表・広告問題

問題

A 図表問題

【出典】 *Intelligent Business Intermediate* (Longman)

【全訳】

広告業界は、歴史上最も混沌とした時代の1つを経験しつつある。これは長期に渡る諸々の変化が組み合わさっているためであり、特にインターネットが原因となっている。これまで以上に事情に通じた消費者がいて、結果的には広告やマーケティングの従来の方法のいくつかは、もはやまったく機能しなくなっているのである。

しかし、広告に対する出費は再び増加しており、

今後も増え続けると予想されている。どのようにしてその費用が使われるのであろうか？ PR活動からダイレクトメール、店内の展示品、電話による売り込み、展示会、イベントのスポンサーなど、直接的な広告に代わるものがたくさんある。今では、これらは広告業界の中で切り離すことができない要素になっている。

相変わらず、広告業界の議論は、結果を達成するための最善の方法に集中している。たとえば、PR会社を利用して、ジャーナリストを昼食に招いて製品についての記事を書くように説得する方が、そのジャーナリストが記事を書いている新聞のディスプレイ広告にお金を使うよりも費用対効果が高いのだろうか？ 新車を豪華な雑誌の広告で売り出すべきなのか、あるいは、今ではいくつかの自動車メーカーがやっているように、展示用モデル車をショッピングモールや高速道路のガソリンスタンドに停めておくだけにすべきなのだろうか？ また、ケーブルテレビの専門チャンネルの一連の広告枠を買う方がいいのか、それとも今年のスーパーボールの間のたった1度の30秒コマーシャルに220万ドルを費やす方がいいのだろうか？

そのような決断を下すのは、ますます難しくなっている。まず第一に、人々が新聞や雑誌を読んで過ごす時間が少なくなっている。しかし、1998年までは減少していたものの、ラジオを聴くことが多くなり、新しい情報媒体であるインターネットを利用する人がどんどん増えている(グラフ1を参照)。インターネットが最終的に広告媒体としてどれほど重要になるかは誰にも分からない。インターネットは特定の消費者集団に届く費用対効果のとても高い方法になるだろう、と考えている広告業者もいる。しかし、誰もがインターネットを利用するわけではないし、インターネットはブランドを築き上げるのにとりわけ優れているとみなされているわけでもない。今のところインターネットは、広告媒体の円グラフ全体の中でわずかな部分しか占めていない(グラフ2を参照)。とはいえ、それが占める割合は急速に増加し始めている。

このように新たな展開がいろいろあるにもかかわらず、広告業界の多くの人たちは相変わらず自信を持っている。ある広告会社の社長は、テレビは決してラジオを減らすことはなかったし、またラジオも決して新聞を減らすことはなかったと指摘する。それらは確かに、創造力を要する非常に大きな課題を提起したが、それは問題ではない、と彼は主張する。「広告業界は永遠に創意工夫に富んでいて、それこ

【訳と語句・構文解説】

◆第1段落◆

The advertising industry is passing through one of the most confusing periods in its history. This is due to a combination of long-term changes, notably the Internet. With better-informed consumers, the result is that some of the traditional methods of advertising and marketing simply no longer work.

広告業界は、歴史上最も混沌とした時代の1つを経験しつつある。これは長期に渡る諸々の変化が組み合わさっているためであり、特にインターネットが原因となっている。これまで以上に事情に通じた消費者がいて、結果的には広告やマーケティングの従来の方法のいくつかは、もはやまったく機能しなくなっているのである。

- ・ the advertising industry 「広告業界」
- ・ pass through A 「A(困難など)を経験する/切り抜ける」

[例] The company has been **passing through** a lot of difficulties.

その会社は多くの困難を経験してきた。

- ・ confusing 「混沌とした/(人)を混乱させるような」
- ・ period 「時代/時期」
- ・ due to A 「A(の理由)のために」
- ・ combination 「組み合わせ」
- ・ long-term 「長期の/持続的な」
- ・ notably 「特に/目立って」
- ・ the Internet 「インターネット」
- ・ better-informed < well-informed 「事情に精通している/博識の」の比較級。
- ・ consumer 「消費者」
- ・ the result is that SV ... 「結果は...である」
- ・ traditional 「従来の/伝統的な」
- ・ method 「方法」
- ・ marketing 「マーケティング」
- ・ simply + 否定語 「ちっとも~ない/まったく~ない」

[例] I **simply couldn't** drag myself out of bed.

ちっともベッドから抜け出せなかった。

- ・ no longer 「もはや~ない」
- ・ work 「機能する/うまくいく」

◆第2段落◆

But spending on advertising is up again and is expected to keep growing. How will the money be spent? There are plenty of alternatives to straightforward advertising, from public relations to direct mail, in-store displays, telemarketing, exhibitions, sponsoring events and more. Now these have become an inseparable part of the advertising industry.

しかし、広告に対する出費は再び増加しており、今後も増え続けると予想されている。どのようにしてその費用が使われるのであろうか？ PR活動からダイレクトメール、店内の展示品、電話による売り込み、展示会、イベントのスポンサーなど、直接的な広告に代わるものがたくさんある。今では、これらは広告業界の中で切り離すことができない要素になっている。

- ・ spending on A 「Aに対する出費」
- ・ be expected to-不定詞 「~すると予想されている」

[例] This rain **is expected to** change to snow after midnight.

この雨は、夜の0時過ぎに雪に変わるでしょう。

- ・ keep ~ing 「~し続ける」

[例] He **keeps staring** at me in a passionate manner.

彼ったら熱いまなざしで私を見続けているの。

- ・ grow 「増える」
- ・ plenty of A 「多くのA」
- ・ alternative to A 「Aに代わるもの」

[例] The only **alternative to** surrender is fighting.

降伏に代わる唯一のことは戦うことだ。

- ・ straightforward 「直接的な/率直な」
- ・ public relation 「PR活動」
- ・ direct mail 「ダイレクトメール/DM」
- ・ in-store display 「店内の展示品」
- ・ telemarketing 「電話による売り込み/販売」
- ・ exhibition 「展示(会)」
- ・ sponsor 「スポンサーになる」
- ・ inseparable 「切り離すことのできない」

◆第3段落◆

As ever, debate in the industry centers on the best way to achieve results. Is it more cost-

effective, for instance, to use a public relations agency to invite a journalist out to lunch and persuade him to write about a product than to pay for a display ad in that journalist's newspaper? Should you launch a new car with glossy magazine ads or — as some car makers now do — simply park demonstration models in shopping malls and motorway service stations? And is it better to buy a series of ads on a specialist cable TV channel or spend \$2.2 million on a single 30-second commercial during this year's Super Bowl?

相変わらず、広告業界の議論は、結果を達成するための最善の方法に集中している。たとえば、PR会社を利用して、ジャーナリストを昼食に招いて製品についての記事を書くように説得する方が、そのジャーナリストが記事を書いている新聞のディスプレイ広告にお金を使うよりも費用対効果が高いのだろうか？ 新車を豪華な雑誌の広告で売り出すべきなのか、あるいは、今ではいくつかの自動車メーカーがやっているように、展示用モデル車をショッピングモールや高速道路のガソリンスタンドに停めておくだけにすべきなのだろうか？ また、ケーブルテレビの専門チャンネルの一連の広告枠を買う方がいいのか、それとも今年のスーパーボールの間のたった1度の30秒コマーシャルに220万ドルを費やす方がいいのだろうか？

- as ever 「相変わらず／いつものように」
- debate 「議論」
- center on A 「A に集中する」
- achieve 「達成する／成し遂げる」
- Is it more cost-effective, for instance, to use ... than to pay ~? 「たとえば、…を利用する方が、～にお金を使うよりも費用対効果が高いのだろうか？」 it は形式主語で、to use ... 以下の内容を受けている。また、to use ... と to pay ~ を比較した文になっている。
- cost-effective 「費用対効果の高い」
- for instance 「たとえば」
- public relations agency 「PR 会社」
- invite A out to B 「A を B に招待する」
- persuade A to-不定詞 「A を説得して～させる」

[例] We **persuaded** her to change the date of the meeting.

私たちは彼女を説得して会議の日程を変更させた。

- product 「製品」
- pay for A 「A にお金を払う」
- display ad 「ディスプレイ広告」新聞や雑誌で、特に目立つように印刷された広告。
- Should you launch a new car with glossy magazine ads or — as some car makers now do — simply park demonstration models in shopping malls and motorway service stations? 「新車を豪華な雑誌の広告で売り出すべきなのか、あるいは、今ではいくつかの自動車メーカーがやっているように、展示用モデル車をショッピングモールや高速道路のガソリンスタンドに停めておくだけにすべきなのだろうか？」 launch ... と park ... が or で並列されている。
- launch 「(新製品を)売り出す／開始する」
- glossy magazine 「(写真入りで光沢紙の)豪華な雑誌」
- as some car makers now do 「現在いくつかの自動車メーカーがやっているように」
- park 「停める／駐車する」
- demonstration model 「展示用モデル車」
- shopping mall 「ショッピングモール」
- motorway 「高速道路」
- service station 「ガソリンスタンド」
- a series of ads 「(番組の)一連の広告枠」
- specialist cable TV channel 「ケーブルテレビの専門チャンネル」
- spend A on B 「A(お金)を B に使う」
- 30-second 「30 秒間の」
- Super Bowl 「スーパーボール」米国のプロアメリカンフットボールリーグである NFL の優勝決定戦。米国最大のスポーツイベントで、毎年年間最高視聴率を記録するなど、広告産業にとって極めて注目度の高いイベントになっている。

◆第4段落◆

Such decisions are ever harder to make. For a start, people are spending less time reading newspapers and magazines, but are listening to more radio, though it had been declining until 1998, and turning in ever-increasing numbers to a new medium, the Internet (see *Graph 1*). No one knows just how important the Internet will eventually be as an advertising medium. Some advertisers think it will be a highly cost-effective way of reaching certain groups of consumers. But not everyone uses the Internet, nor is it seen

as being particularly good at building brands. So far, the Internet accounts for only a tiny slice of the overall advertising pie (see *Graph 2*), although its share has begun to grow rapidly.

そのような決断を下すのは、ますます難しくなっている。まず第一に、人々が新聞や雑誌を読んで過ごす時間が少なくなっている。しかし、1998年までは減少していたものの、ラジオを聴くことが多くなり、新しい情報媒体であるインターネットを利用する人がどんどん増えている(グラフ1を参照)。インターネットが最終的に広告媒体としてどれほど重要になるかは誰にも分からない。インターネットは特定の消費者集団に届く費用対効果のとても高い方法になるだろう、と考えている広告業者もいる。しかし、誰もがインターネットを利用するわけではないし、インターネットはブランドを築き上げるのにとりわけ優れているとみなされているわけでもない。今のところインターネットは、広告媒体の円グラフ全体の中でわずかな部分しか占めていない(グラフ2を参照)。とはいえ、それが占める割合は急速に増加し始めている。

- ever+比較級「ますます～」
- for a start「まず第一に」
- spend A ~ing「～してA(時間)を過ごす」
- decline「減少する」
- turn to A「Aに頼る/Aに向かう」
- in ever-increasing numbers「どんどん数を増やして」
- medium「情報媒体/メディア」複数形はmedia。
- No one knows just how important the Internet will eventually be as an advertising medium.「インターネットが最終的に広告媒体としてどれほど重要になるかは誰にも分からない」how important 以下は間接疑問で、knowsの目的語になっている。
eventually「最終的に/結局は」
- highly「非常に/大いに」
- reach「届く/達する」
- a certain A「ある特定のA」
- not everyone ~「すべての人が～するわけではない」部分否定。
- nor is it seen as being particularly good at building brands「インターネットはブランドを築き上げるのにとりわけ優れているとみなされているわけでもない」itはthe Internetを指している。

否定文, nor VS ...「～でないし、また…でもない」norの後ろは倒置形になることに注意。

[例] I don't like rock music, **nor** does my father.

僕はロックが好きではないし、父もまたロックが好きではない。

see A as (being)+形容詞「Aを～であるとみなす」

particularly「特に/とりわけ」

be good at ~ing「～するのにすぐれている/～が得意だ」

build「築く」

brand「ブランド」

• so far「今までのところ」

• account for A「A(の割合)を占める」

• tiny「小さな」

• slice「部分」ここでは「円グラフの中に占める割合」を意味している。

• overall「全体の」

• pie (chart)「円グラフ」

• share「(全体に占める)割合」

◆第5段落◆

Despite all of these new developments, many in the advertising business remain confident. The chairman of an advertising company points out that TV never killed radio, which in turn never killed newspapers. They did pose huge creative challenges, but that's OK, he maintains: "The advertising industry is forever inventive; that's what we do."

このように新たな展開がいろいろあるにもかかわらず、広告業界の多くの人たちは相変わらず自信を持っている。ある広告会社の社長は、テレビは決してラジオを滅ぼすことはなかったし、またラジオも決して新聞を滅ぼすことはなかったと指摘する。それらは確かに、創造力を要する非常に大きな課題を提起したが、それは問題ではない、と彼は主張する。「広告業界は永遠に創意工夫に富んでいて、それこそが私たちの仕事なのだ」

• despite A「Aにもかかわらず」

• remain+形容詞「～のままにいる」

• confident「自信を持った」

• chairman「社長/会長」

• point out that SV ...「…と指摘する」

• TV never killed radio, which in turn never killed newspapers.「テレビは決してラジオを滅ぼすことはなかったし、またラジオも決して新聞

を減らすことはなかった」 which in turn ... は、radio を補足説明する非制限用法の関係代名詞節。

kill 「減らす／台なしにする」

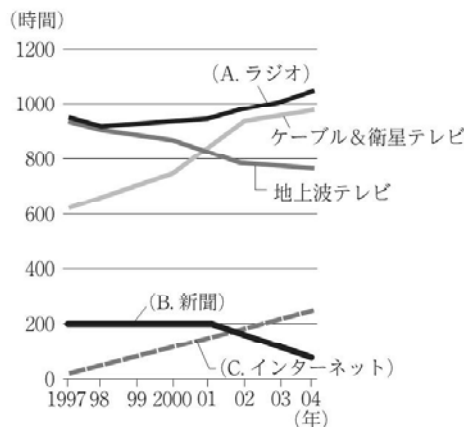
in turn 「今度は(また)」

- ・ They did pose huge creative challenges. 「それらは確かに、創造力を要する非常に大きな課題を提起した」 They はテレビとラジオを指している。 did+動詞の原形 「確かに～した／実際に～した」 pose 「(問題などを)提起する」 huge 「とても大きな／強大な」 creative 「創造力を要する」 challenge 「課題／難問」
- ・ maintain 「主張する」
- ・ inventive 「創意に富む／発明のオがある」

◆グラフ◆

グラフ1

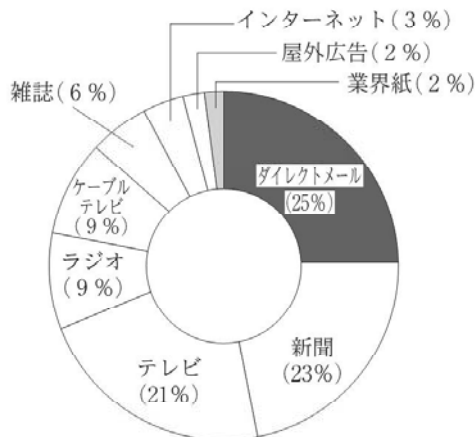
米国における1人あたりの年間メディア利用時間 (1997～2004)



- ・ per A 「A あたり」
- ・ broadcast TV 「地上波テレビ」

グラフ2

アメリカの広告業界の支出



- ・ business paper 「業界紙」

【設問別解説】

問1 レポートによると、費用対効果の高い広告の方法として挙げられていないのはどれか? **35**

- ① ジャーナリストに製品について記事を書くよう依頼すること。
- ② 映画スターに製品を使ってもらうこと。
- ③ 新車をショッピングモールに停めておくこと。
- ④ テレビコマーシャルにお金を払うこと。

本文に記述がないのは②である。したがって、正解は②。①は、第3段落第2文 Is it more cost-effective, for instance, to use a public relations agency to invite a journalist out to lunch and persuade him to write about a product than to pay for a display ad in that journalist's newspaper? 「たとえば、PR会社を利用して、ジャーナリストを昼食に招いて製品についての記事を書くように説得する方が、そのジャーナリストが記事を書いている新聞のディスプレイ広告にお金を使うよりも費用対効果が高いのだろうか?」に記述がある。③は、第3段落第3文 Should you launch a new car with glossy magazine ads or — as some car makers now do — simply park demonstration models in shopping malls and motorway service stations? 「新車を豪華な雑誌の広告で売り出すべきなのか、あるいは、今ではいくつかの自動車メーカーがやっているように、展示用モデル車をショッピングモールや高速道路のガソリンスタンドに停めておくだけにするべきなのだろうか?」に記述がある。④は、第3段落第4文 And is it better to buy a series of ads on a specialist cable TV channel or spend \$2.2 million on a single 30-second commercial during this year's Super Bowl? 「また、ケーブルテレビの専門チャンネルの一連の広告枠を買う方がいいのか、それとも今年のスーパーボールの間のたった1度の30秒コマーシャルに220万ドルを費やす方がいいのだろうか?」に記述がある。

問2 次の組み合わせの中でどれが、グラフ1における3つのメディア(A), (B), (C)の組み合わせを表しているか? **36**

- ① (A) インターネット (B) 新聞 (C) ラジオ
- ② (A) 新聞 (B) インターネット (C) ラジオ
- ③ (A) 新聞 (B) ラジオ (C) インターネット
- ④ (A) ラジオ (B) 新聞 (C) インターネット

第4段落第2文の最後に see Graph 1 「グラフ1を参照」とあるので、この文を根拠にすればよいと分かる。まず、前半部 For a start, people are spending less time reading newspapers and

magazines, 「まず第一に、人々が新聞や雑誌を読んで過ごす時間が少なくなっている」より、下降しているのは(B)なので、(B)が「新聞」であると分かる。次に、それ以降の記述 but are listening to more radio, though it had been declining until 1998, 「しかし、1998年までは減少していたものの、ラジオを聴くことが多くなり」より、(A)が「ラジオ」であると分かる。最後に、後半部 and turning in ever-increasing numbers to a new medium, the Internet 「新しい情報媒体であるインターネットを利用する人がどんどん増えている」より、(C)が「インターネット」であると分かる。したがって、正解は④。

問3 次の記述のうち、どれが正しいか？ 37

- ① 広告への出費は再び減少し、減少し続けると予想されている。
- ・ expenditure 「出費」
- ② 従来からある広告の方法の中には、人々がインターネットに頼るようになるにつれて、効果的でなくなるものがあるかもしれない。
- ③ ある広告会社の社長は、テレビが新聞を、次にラジオを衰退させたと指摘している。
- ・ ruin 「潰す／台なしにする」
- ④ 広告予算の中で最も大きな割合が、テレビのコマーシャルに使われている。
- ・ budget 「予算」

第1段落第2・3文 This is due to a combination of long-term changes, notably the Internet. With better-informed consumers, the result is that some of the traditional methods of advertising and marketing simply no longer work. 「これは長年に渡る諸々の変化が組み合わさっているためであり、特にインターネットが原因となっている。これまで以上に事情に通じた消費者がいて、結果的には広告やマーケティングの従来の方法のいくつかは、もはやまったく機能しなくなっているのである」より、正解は②。①は、第2段落第1文 But spending on advertising is up again and is expected to keep growing. 「しかし、広告に対する出費は再び増加しており、今後も増え続けると予想されている」より、不正解。③は、第5段落第2文 The chairman of an advertising company points out that TV never killed radio, which in turn never killed newspapers. 「ある広告会社の社長は、テレビは決してラジオを滅ぼすことはなかったし、またラジオも決して新聞を滅ぼすことはなかったと指摘する」より、不正解。④は、グラフ2より、最も大きな割

合を占めるのはダイレクトメールだと分かるので、不正解。

B 広告問題

【全訳】

防災研修会

あなたは日本在住の外国人ですか？

地震が起こったとき、何をすべきかご存知ですか？

最近、日本の至る所で地震が頻発していて、そのために私たちはとても不安になっています。大地震に備えるためには、まずは地震について学んでおくことがとても重要です。中央防災センターで地震シミュレーターに乗ってみませんか？ さらに、停電のときに、真っ暗な中で家から脱出することにも挑戦できます。こうした体験の後は、防災テストに答えて応急処置について学ぶことができます。

- ◇ 日時 : 9月18日(日)(午後1時～午後3時)
- ◇ 場所 : 中央防災センター(地下鉄市役所駅3番出口から西へ徒歩5分)
- ◇ 参加費 : 無料
- ◇ 申し込み : 参加登録をするには、9月15日までに123-456-7890(午前9時～午後5時)にお電話をください。先着順で25名まで登録されます。登録時のご要望に応じて、通訳者を付けることができます。

防災用品をお求めなら、当センターで購入できます。パスポートのご提示で、10パーセントの割引を受けられます。

- ◆ 防災用品セット……………20,000円
- ◆ 缶入りパン……………300円
- ◆ 缶入りビスケット……………350円
- ◆ 懐中電灯……………2,000円
- ◆ ミネラルウォーター……………100円

【語句・構文解説】

- ・ disaster 「災害」
- ・ prevention 「予防」
- ・ workshop 「研修(会)／勉強会」
- ・ what to do 「何をすべきか」
- ・ earthquake 「地震」
- ・ occur 「起こる／発生する」
- ・ there have been a lot of earthquakes occurring 「多くの地震が発生している」
- there is A ~ing 「A が~している」第2問C問3を参照。
- ・ ..., which makes us very nervous. 「そのために私たちはとても不安になっています」前文の内容を補足説明する非制限用法の関係代名詞節。
- make A C 「A を C の状態にする」
- nervous 「不安な／緊張した」
- ・ prepare for A 「A に備えて準備する」
- ・ major 「(規模／程度が)大きな」
- ・ the Central Disaster Prevention Center 「中央防災センター」
- ・ why not + 動詞の原形? 「~したらどうですか?」
- ・ take a ride on A 「A に乗る」
- ・ an earthquake simulator 「地震シミュレーター」
大地震対策の一環として、大地震を再現して体験させることにより、防災の一助となることを目的とした機械。家屋を再現したものから、椅子型の運搬可能なものまである。
- ・ in addition 「さらに／その上」
- ・ find way out of A 「A から脱出する」
- ・ dark 「暗闇」
- ・ power failure 「停電」
- ・ quiz 「小テスト」
- ・ first aid 「応急処置／救急処置」
- ・ 5 minutes' walk 「歩いて5分かかる距離」
- ・ exit 「出口」
- ・ city hall 「市役所」
- ・ subway 「地下鉄」
- ・ free of charge 「無料で」
- ・ application 「申し込み／応募」
- ・ register 「登録する」
- ・ on or before September 15 「9月15日までに」
on と before が or で並列されている。
- ・ registration 「登録」
- ・ be on a first-come-first-served basis 「先着順に行われる」
- ・ up to A (数詞) 「(最高で)A まで」
- ・ interpreter 「通訳者」

- ・ available 「利用できる」
- ・ upon request 「要望に応じて」
- ・ disaster preparation supplies 「防災用品」
- ・ discount 「割引」
- ・ a can of A 「缶入りの A」
- ・ biscuit 「ビスケット」
- ・ flashlight 「懐中電灯」

【設問別解説】

問1 次のどの記述が正しいか? **38**

- ① 25番目の申込者ならば、出席できない。
- ② 9時から5時まで仕事があるのなら、仕事の後で6時頃にセンターに電話することができる。
- ③ 研修会が開催されるのは、市役所の近くである。
- ④ 日本語を話せなければ、この研修会に参加することができない。

広告の Place 「場所」に 5 minutes' walk west of Exit 3 of City Hall Subway Station 「地下鉄市役所駅3番出口から西へ徒歩5分」とあるので、正解は③である。①は、広告の Application 「申し込み」に Registration will be on a first-come-first-served basis, up to 25 persons. 「先着順で25名まで登録されます」とあるので、不正解。②は、広告の Application 「申し込み」に Call 123-456-7890 (9:00 am-5:00 pm) to register on or before September 15. 「参加登録をするには、9月15日までに123-456-7890(午前9時~午後5時)にお電話をください」とあるので、不正解。④は、広告の Application 「申し込み」に, Interpreters are available upon request at time of application. 「登録時のご要望に応じて、通訳者を付けることができます」とあるので、不正解。

問2 パスポートを持っている人がミネラルウォーター2本と缶入りパン3個を買おうと、いくらかかるか? **39**

- ① 900円
- ② 990円
- ③ 1,100円
- ④ 1,125円

広告の右下にある防災用品の欄を参照する。ミネラルウォーター2本(100円×2)+缶入りパン3個(300円×3)=1,100円となる。次に、広告の左下に Show your passport, and we will give you a 10% discount. 「パスポートのご提示で、10パーセントの割引を受けられます」とあるので、1,100円-(1,100円×0.1)=990円より、正解は②となる。

問3 研修会で参加者は何をすることができるの

か？ **40**

- ① 地震で負傷した人たちに応急処置をすることができる。
- ② 地震シミュレーターを操作することができる。
・operate「操作する」
- ③ 真っ暗な家にかくれんぼをすることができる。
・hide-and-peek「かくれんぼ」
- ④ 地震が起こったときに何をすべきかに関する小テストに答えることができる。

広告上部の、研修会の概要を説明した文章を参照する。その最終文に After these experiences, you can take the disaster prevention quiz and learn about first aid.「こうした体験の後には、防災テストに答えて応急処置について学ぶことができます」とあるので、正解は④となる。①は、広告にそのような記述がないので、不正解。②は、概要を説明した文章の第3文に At the Central Disaster Prevention Center, why not take a ride on an earthquake simulator?「中央防災センターで地震シミュレーターに乗ってみませんか?」とあるが、operate「操作する」とは書かれていないので、不正解。③は、広告の中に「かくれんぼ」に関する記述がないので、不正解。

第5問 ヴィジュアル問題

問題

【全訳】

トモコの話

先月、私の家族はホストファミリーとして、1週間、オーストラリアの留学生を受け入れました。彼女の名前はエミリーです。私たちの家族がホストファミリーになったのはこれが初めてだったので、私たちは習慣や言語の違いのことが少し心配でした。最初、エミリーは内気で物静かなように見えました。ところが、いったん自分の国や家族などについて話し始めると、とても冗舌になりました。日本語は話せませんでしたが、私たちがついていけるように英語をゆっくり話してくれました。私は彼女と意思を伝え合うことができると分かって安心しました。

3日目に、私たちは近くの水族館へ行きました。週末はいつもそうですが、ものすごい人混みでした。エミリーを案内しながら、私は自分のことをたくさん話しました。彼女が私の英語を分かってくれているようだったので、うれしかったです。楽しくおしゃべりしながら、彼女と仲良くなっていくような感じがしました。

彼女の滞在中で最も楽しかったのは、一緒に街へ出かけたときのことです。初めに、カラオケに行き、代わる代わる歌いました。エミリーは私の声がきれいだと言ってくれました。ほめられて、うれしい気分でした。私、歌うのが大好きなんです！一晩中でも歌っていられそうでしたが、彼女を飽きさせたくはありませんでした。彼女も楽しかったと思います。でも、その後に見た日本語の映画は面白くありませんでした。エミリーのために、英語の映画を選べばよかったと思いました。

エミリーのホームステイの最後の日、私は母が夕食にスキヤキを作るのを手伝いました。おいしいとみんなが言ってくれました。エミリーの食欲のすごさにはびっくりしましたが、彼女が気に入ってくれてうれしかったです。その後、私の大好きな日本人歌手の最新アルバムのCDをあげました。それを手にして、彼女は本当にうれしそうでした。

エミリーのおかげで、私の英語は上達しましたが、それと同時に、オーストラリアについても知識が深まりました。彼女と過ごせてとても楽しかったです。これからはずっと思い出に残る、本当に素晴らしい経験でした。

エミリーの話

これは私の日本への初めての旅だったので、とても緊張していましたが、ホストファミリーは最初の晩に温かく迎えてくれました。私はホストファミリーの人たちに、オーストラリアの文化や習慣、私の家族、趣味などについて話しました。本当に楽しく話げできました。というのは、彼らが私の話にとっても注意深く耳を傾けてくれたからです。そのおかげで、くつろいだ気分になりました。

3日目に、家族全員と私とで水族館まで歩いて行きました。イルカショーはとても気に入りました。以前にそういうショーを一度も見たことがなかったからです。その後、ホストファミリーの中で私と同年のトモコは友だちとテニスの練習があったので、ホストペアレンツと私でショッピングモールへ買い物に出かけました。二人は、私が家族や友だちのために持って帰るお土産を探すのを手伝ってくれ、また、思い出になる特別な贈り物まで買ってくれました。買い物の後、お寿司屋さんへ行きました。思っていたとおり、私の住んでいる町よりも、日本のお寿司の方がおいしいです。

次の日、トモコはカラオケに連れて行ってくれました。私はとてもわくわくしました。というのは、英語の歌がたくさんあったし、部屋の音響システムがオーストラリアよりずっと良かったからです。英語の歌をいくつか歌いました。トモコは日本の歌をいくつか歌いましたが、どれも以前には聞いたことのないものばかりでした。でも、すごくいいと思いました。その後、映画を見に行きました。残念ながら、日本語の映画だったので、楽しめませんでした。

ホームステイ最後の晩には、夕食にスキヤキを食べました。あまりのおいしさに、びっくりするほどでした。実を言うと、日本で食べた他のどの料理よりもおいしかったです。数回、お代わりをしました。夕食の後、トモコはお別れのプレゼントとして、カラオケで彼女が歌った歌が何曲か入っているCDをくれ、ホストペアレンツはホームステイ中に撮った写真を貼ったアルバムをくれました。胸がいっぱいになって、涙がこぼれました。

ホストファミリーと一緒にいると、本当に心が和みました。ベッドではなくフトンを使い、深くて熱いお風呂に浸かるのはとりわけ気持ちよかったです。それは、観光や買い物で忙しく一日を過ごした後にくつろぐにはとてもよい方法でした。私は、ホストファミリーの優しさを忘れることは決まてないでしょう。

【語句・構文解説】

◆トモコの話◆

- ・ host 「(客を)泊める／(パーティーなどの)主人役を務める」ここではホストファミリーとして学生などを受け入れることを意味している。

- ・ This was the first time that S had ever + 過去分詞 「…したのはこれが初めてだった」

- ・ be anxious about A 「Aのことを心配している」

【例】 He **was** a bit **anxious about** the safety of the machinery.

彼はその機械の安全性がちょっと心配だった。

- ・ custom 「(社会の)習慣／慣習」

- ・ at first 「最初は」

【例】 She seems unfriendly **at first**, but she's really very nice.

彼女は最初はとっつきにくい感じがするけど、本当はとてもいい人なのよ。

- ・ shy 「内気な」

- ・ once SV ... 「いったん…すると」この once は接続詞。

- ・ native 「出生地の／自分の国の」

- ・ ... and so on 「…など」

- ・ talkative 「冗舌な／おしゃべりな」

- ・ so that S can + 動詞の原形 「…できるように」

- ・ follow 「(人の話に)ついていく／理解する」

- ・ be relieved to-不定詞 「～して安心する」

- ・ nearby 「近くの」

- ・ aquarium 「水族館」

- ・ as is usual 「いつものことだが」

- ・ tremendous 「ものすごい」

- ・ crowd 「人混み／群衆」

- ・ show A around B 「A(人)にB(場所)を案内する」

- ・ be pleased that SV ... 「…してうれしい」

- ・ pleasant 「楽しい」

- ・ conversation 「会話」

- ・ feel like SV ... 「…するような気がする」

- ・ downtown 「街中へ／繁華街へ」

- ・ take turns ~ing 「代わる代わる～する／交替で～する」

【例】 The students were **taking turns reading** aloud.

生徒たちは交替しながら朗読していた。

- ・ feel flattered 「(ほめられたりして)うれしく思う／得意になる」

- ・ could have + 過去分詞 「(やろうと思えば)～できただろう」 假定法過去完了の表現。

- ・ all night 「一晩中」

- ・ get bored 「飽きる」

- ・ the Japanese movie we watched afterwards 「その後に見た日本の映画」 we 以下は the Japanese movie を修飾する接触節。

afterwards 「その後に」

- ・ should have + 過去分詞 「～すべきだった(が、しなかった)」

- ・ chosen < choose 「選ぶ」の過去分詞

- ・ help A + 動詞の原形 「A が～するのを手伝う」

- ・ appetite 「食欲」

- ・ latest 「最新の」

- ・ thanks to A 「Aのおかげで」

- ・ at the same time 「同時に」

◆エミリーの話◆

- ・ nervous 「緊張した」

- ・ welcome 「歓迎する」

- ・ warmly 「温かく」

- ・ attentively 「注意深く」

・ feel at home 「くつろいだ気分である」

[例] We like to make our customers **feel at home**.

私たちは、お客さんにくつろいだ気分であいてもらいたいです。

- ・ dolphin 「イルカ」
- ・ A *one's* age 「～と同じ年の A / ～の年齢の A」
- ・ mall 「ショッピングモール」
- ・ take back A / take A back 「A を持ち帰る」
- ・ a special gift for me to remember them by 「思い出になる特別な贈り物 / 私が彼らを思い出するための特別な贈り物」 for me は to remember them by の意味上の主語で, for me to remember them by は a special gift を修飾する形容詞用法の to-不定詞句。remember them by a special gift 「特別な贈り物によって彼らのことを思い出す」の a special gift が前に出されたと考えるとよい。
- ・ taste 「味がする」
- ・ following 「次の」
- ・ Tomoko sang some Japanese ones, none of which I had heard before 「トモコは日本の歌をいくつか歌いましたが、どれも以前には聞いたことのないものばかりでした」 which は先行詞 some Japanese ones (=songs) を受ける関係代名詞。I had heard none of them (=the songs) before の none of them が前に出て, none of which になったと考えるとよい。
none of A 「A のうちのどれも～ない」
- ・ unfortunately 「残念なことに」
- ・ surprisingly 「驚くほど」
- ・ in fact 「実際 / 実は」
- ・ helping 「(食べ物)の 1 杯 / お代わり」
- ・ farewell 「別れ」
- ・ a CD which included some songs she had sung at *karaoke* 「カラオケで彼女が歌った歌が何曲か入っている CD」 which 以下は a CD を修飾する関係代名詞節。she had sung at *karaoke* は some songs を修飾する接触節。
include 「含む」
- ・ be moved to tears 「感動して涙を流す」

[例] She **was moved to tears** by the novel.

彼女はその小説を読んで、感動の涙を流した。

- ・ instead of A 「A の代わりに / A ではなく」
- ・ especially 「特に」
- ・ soak in A 「A(液体)に浸かる」
- ・ sightseeing 「観光」

【設問別解説】

問 1 トモコとエミリーのどちらも [41] ことを退屈だと思った。

- ① 夕食にスキヤキを料理する
- ② カラオケで歌う
- ③ イルカショーを見る
- ④ **日本映画を見る**

トモコの第 3 段落第 8 文 But the Japanese movie we watched afterwards was not interesting. 「でも、その後に見た日本語の映画は面白くありませんでした」と、エミリーの第 3 段落の最後の 2 文 After that, we went to see a movie. Unfortunately, it was in Japanese, so I didn't enjoy it. 「その後、映画を見に行きました。残念ながら、日本語の映画だったので、楽しめませんでした」より、トモコとエミリーのどちらも映画が退屈だったと思っていると分かる。よって、④が正解。

問 2 トモコは何に驚いたのか? [42]

- ① **エミリーがスキヤキをたくさん食べた。**
- ② 自分の両親が英語を流暢に話した。
- ③ スキヤキが思ったよりおいしかった。
- ④ 近くの水族館がとても混んでいた。

トモコの第 4 段落第 1 ~ 3 文 The last night of Emily's stay, I helped my mom make *sukiyaki* for dinner. Everyone said it was delicious. I was surprised at Emily's big appetite, but I was glad she liked it. 「エミリーのホームステイ最後の日、私は母が夕食にスキヤキを作るのを手伝いました。おいしいとみんなが言ってくれました。エミリーの食欲のすごさにはびっくりしましたが、彼女が気に入ってくれてうれしかったです」より、①が正解。なお、トモコは第 2 段落で「水族館が大変混んでいた」と述べているが、それについては As is usual on weekends 「週末はいつもそうですが」と言っていて、そのことに驚いてはいないので、④は不正解。

問 3 エミリーが深く感動したのはどんなことか?

[43]

- ① ホストファミリーが、自分が話すことをよく聞いてくれた。
- ② **ホストペアレンツが写真のアルバムをくれた。**
- ③ トモコの友だちに会う機会があった。
- ④ トモコが一晩中カラオケを歌った。

エミリーの第 4 段落最後の 2 文 ... my host parents gave me a photo album with pictures from my stay. I was moved to tears. 「…ホストペアレンツはホームステイ中に撮った写真を貼ったアルバムをくれました。胸がいっぱいになって、涙が

こばれました」より、②が正解。なお、エミリーは第1段落第3文で I really enjoyed talking with them, because they listened to me very attentively. 「本当に楽しく話げできました。というのは、彼らが私の話にとて注意深く耳を傾けてくれたからです」と言っているが、「深く感動した」とまでは述べていないため、①は不正解。

問4 次の文のうち正しいものはどれか？ **44**

- ① エミリーはホストペアレンツに家族と写っている自分の写真をあげた。
- ② エミリーは日本で食べた他の何よりもスキヤキを気に入った。
- ③ トモコは水族館のイルカショーをとて気に入った。
- ④ トモコはエミリーがあまりに早口で英語を話したので不快になった。

エミリーの第4段落第1～3文 The last evening of my stay we had *sukiyaki* for dinner. It was surprisingly nice. In fact, it tasted better than any other meal I had had in Japan. 「ホームステイ最後の晩には、夕食にスキヤキを食べました。あまりのおいしさに、びっくりするほどでした。実を言うと、日本で食べた他のどの料理よりもおいしかったです」より、②が正解。

問5 女の子たちがしたことを正しい順序で示しているものは、次のうちのどれか？ **45**

- ① (A) → (C) → (D) → (B)
- ② (A) → (D) → (C) → (B)
- ③ (C) → (A) → (B) → (D)
- ④ (C) → (B) → (A) → (D)

エミリーの第2段落に、「3日目に水族館でイルカショーを見て、次に、ホストペアレンツがショッピングモールで記念の物を買ってくれた」と書かれているため、最初は(C) → (B)である。エミリーの第3段落に「次の日にカラオケへ行った」とあるので、次に(A)がくる。トモコとエミリーの第4段落に、それぞれ「最後の晩に家族でスキヤキを食べた」と書かれているので、最後に(D)がくる。したがって、④が正解である。

第6問 長文読解問題

問題

【出典】 John Cline: *Do Later School Start Times Really Help High School Students?* (Psychology Today, February 27, 2011)

【全訳】

(1) 10代の若者が就寝するのも起床するのも遅い傾向にあることは、今では一般によく知られてい

る。アメリカのたいていの高校は、朝の始業時間が早い。このため、多くの高校生にとっては、睡眠の必要性と学校のスケジュールをこなす必要性がぶつかり合うことになる。それでは、始業時間が遅い方が本当に高校生のためになるのだろうか？ 蓄積されつつある証拠に基づけば、その答えは明らかにイエスである。全米各地で行われているますます多くの調査が、授業日の始業時間を変えることで、生徒の生活にかなり大きな好ましい変化が現れる可能性があることを示している。

(2) 多くの高校生が、メアリー・カースカドン博士が言うところの持続的時差ボケ状態で生活している。カースカドン博士は、10代の若者が必要とする睡眠に関する最も重要な研究のいくつかに関わってきた。この研究では、青年期にある人は一晩におよそ8時間半から9時間半の睡眠を必要としていることが示されている。今の10代の若者に知り合いがいれば、この時間に少しでも近い睡眠をとっている者はごく少数であることが分かるだろう。学校の始業時間を遅らせれば、生徒がもっと睡眠をとるのに役立つであろう。授業をもっと遅い時間から、つまり、生徒の体内時計からすると学習の準備が最も整うときにより近い時間から始めることは、10代の若者が学校でどれだけ多くの知識を習得するかということに関して、実に大きな違いを生み出すであろう。

(3) 学校のより遅い始業時間が生徒にどのような影響を与えるのかを示すさまざまな調査が、過去15年間にわたって行われてきた。ほとんどの調査は公立学校で実施されてきたが、一部の調査は私立学校でも行われている。

(4) 1990年代にミネソタ州のいくつかの場所で学校の始業時間を変更すると、早い段階で好ましい結果が生まれた。学校にいる時間の長さは同じままにして、始業時間を午前7時15分から午前8時40分に、あるいは午前7時25分から午前8時30分に変えることで、都市部の生徒も郊外の生徒も学習や生活面での態度の改善が見られた。都市部の生徒は出席が増え、遅刻が減り、保健室の先生を以前ほど訪れなくなった。郊外の生徒は、規則正しい就寝時間を守る傾向があり、それによって睡眠時間が一晩につき1時間ほど増え、注意力と効率の向上により日中により多くの宿題を終わらせることができた。マサチューセッツ州では、

10代前半の若者のために中等学校の始業時間を変更することも有益であることが分かった。始業時間が午前8時30分の学校の生徒は、始業時間が午前7時15分の学校の生徒よりも、およそ1時間余分に寝て、学校で苦勞しなくても起きることができ、成績も良かった。ロード・アイランド州の私立高校で最近行われた調査では、始業時間を午前8時から午前8時30分に移行することで、一晩に8時間睡眠をとる生徒の数が16%から55%に増え、出席が改善され、生徒が医療センターを訪れる回数が減ることが分かった。気分の改善も、生徒の間で見られた。

(5) あらゆる結果の中でおそらく最も劇的なものが、ケンタッキー州フェイエット郡のある学区で得られた結果である。1990年代に、午前7時30分から午前8時30分に始業時間を変更した後、フェイエット郡学区内では16歳から18歳が自動車事故にあう割合の減少が見られたのに対し、州の他の地域では同じ年齢層の人が事故にあう割合が実は増加していたのである。自動車事故に若者があう危険を考えると、このこと自体が学校の始業時間を変更する有力な理由となる。

(6) もちろん、より遅い始業時間やより長い睡眠時間と関連する好ましくない影響が生じる可能性もある。親の仕事の予定を狂わせ、スポーツやクラブといった放課後の活動の時間が短くなり、生徒が日中のより遅い時間に帰宅する原因になりかねないし、放課後のアルバイトに使える時間にも影響を与えるかもしれない。こうした課題は、環境によっては対処するのがより困難であろう。たとえば、郊外にある学校の親は、都会的な環境にいる親と比べて、交通手段や仕事の予定の変更に対応するのにより苦勞するかもしれない。しかし、総合的に考えると、このような変更を行う損失よりも恩恵の方が上回る。学校の始業時間を調整するだけで、睡眠不足の生徒の数はアメリカではずっと少なくなるだろう。

【語句・構文解説】

◆第1段落◆

(1) It is now well established that teenagers have a tendency to go to bed and get up late. Most high schools in the US have early morning start times. For many high school students, this results in a conflict between their sleep needs

and the requirements of their school schedules. So, do later school times really help high school students? Based on accumulating evidence, the answer is clearly yes. Increasing numbers of studies conducted in various parts of the country show that a change in the start time of the school day can make a significant positive change in the lives of students.

(1) 10代の若者が就寝するのも起床するのも遅い傾向にあることは、今では一般によく知られている。アメリカのたいていの高校は、朝の始業時間が早い。このため、多くの高校生にとっては、睡眠の必要性和学校のスケジュールをこなす必要性がぶつかり合うことになる。それでは、始業時間が遅い方が本当に高校生のためになるのだろうか？蓄積されつつある証拠に基づけば、その答えは明らかにイエスである。全米各地で行われているますます多くの調査が、授業日の始業時間を変えることで、生徒の生活にかなり大きな好ましい変化が現れる可能性があることを示している。

- ・ well established 「一般によく知られている」
 - ・ teenager 「10代の若者」 厳密には13歳から19歳の若者のこと。
 - ・ tendency to-不定詞 「～する傾向」
 - ・ start time 「始業時間」
 - ・ result in A 「Aという結果になる」
- 【例】 Their negotiations **resulted in** failure.
彼らの交渉は失敗に終わった。
- ・ conflict between A and B 「AとBの間の衝突 [対立]」
 - ・ requirement 「要求されるもの/必要なもの」
 - ・ based on A 「Aに基づいて」
 - ・ accumulate 「蓄積する」
 - ・ evidence 「証拠」
 - ・ Increasing numbers of studies conducted in various parts of the country 「全米各地で行われているますます多くの調査」 conducted 以下は、studies を修飾する過去分詞句。
increasing numbers of A 「ますます多くのA」
conduct 「行う」
 - ・ various 「さまざまな」
 - ・ school day 「授業日」
 - ・ significant 「かなり大きな/相当の」
 - ・ positive 「好ましい/肯定的な」

◆第2段落◆

(2) Many high school students live in what Dr.

Mary Carskadon calls a continuous state of jet lag. Dr. Carskadon has been involved in some of the most important research on the sleep needs of teens. This research indicates that adolescents need about 8.5 to 9.5 hours of sleep a night. If you know any teenagers today, you realize that very few are getting anywhere near this amount. Starting school later could help students get more sleep. Starting classes later, closer to when their biological clocks are most ready for learning, could make a real difference to how much knowledge a teen acquires at school.

(2) 多くの高校生が、メアリー・カースカドン博士が言うところの持続的時差ボケ状態で生活している。カースカドン博士は、10代の若者が必要とする睡眠に関する最も重要な研究のいくつかに関わってきた。この研究では、青年期にある人は一晩におよそ8時間半から9時間半の睡眠を必要としていることが示されている。今の10代の若者に知り合いがいれば、この時間に少しでも近い睡眠をとっている者はごく少数であることが分かるだろう。学校の始業時間を遅らせれば、生徒がもっと睡眠をとるのに役立つであろう。授業をもっと遅い時間から、つまり、生徒の体内時計からすると学習の準備が最も整うときにより近い時間から始めることは、10代の若者が学校でどれだけ多くの知識を習得するかということに関して、実に大きな違いを生み出すであろう。

- what A calls ~ 「Aが言うところの~/Aが~と呼んでいるもの」
- continuous 「継続的な」
- state 「状態」
- jet lag 「時差ボケ」
- be involved in A 「Aに関わっている」

[例] She **was involved in** the women's movement.
彼女は女性運動に参加していた。

- research 「研究」
- indicate that SV ... 「…であることを示す」
- adolescent 「青年期の人/10代の若者」
- get anywhere near A 「Aに少しでも近づく」
- amount 「量」
- help A+動詞の原形 「Aが~するのに役立つ」
- Starting classes later, closer to when their biological clocks are most ready for learning, 「授業をもっと遅い時間から、つまり、生徒の体内

時計からすると学習の準備が最も整うときにより近い時間から始めること」 closer 以下は, later の言い換えとなっている。

close to A 「Aに近く」

when SV ... 「…するとき」 (=the time when SV ...) 名詞節として働いている。

biological clock 「体内時計/生物時計」生物に備わっていると推定される時間測定機構。

- make a difference to A 「Aにとって違いを生じさせる」

[例] Changing schools **made a big difference to** my life.

転校したことで、私の人生が大きく変わった。

- teen 「10代の若者」 (=teenager)
- acquire 「習得する/獲得する」

◆第3段落◆

(3) Several studies have been conducted over the past 15 years that indicate how a later start time for school can affect students. Most have been carried out in public schools, although some research is happening at private schools as well.

(3) 学校のより遅い始業時間が生徒にどのような影響を与えるのかを示すさまざまな調査が、過去15年間にわたって行われてきた。ほとんどの調査は公立学校で実施されてきたが、一部の調査は私立学校でも行われている。

- Several studies ... that indicate how a later start time for school can affect students 「学校のより遅い始業時間が生徒にどのような影響を与えるのかを示すさまざまな調査」 that 以下は Several studies を修飾する関係代名詞節。
- affect 「影響を与える」
- carry out A / carry A out 「Aを実施する/実行する」
- public school 「公立学校」
- private school 「私立学校」
- A as well 「Aも(同様に)」

◆第4段落◆

(4) Changes made in school start times in several locations in Minnesota in the 1990s showed early positive results. Keeping the length of the school day the same but changing the start of the school day from 7:15 AM to 8:40 AM or

from 7:25 AM to 8:30 AM resulted in improved functioning for both urban and suburban students. Urban students had better attendance, decreased lateness and fewer visits to the school nurse. Suburban students tended to keep their regular bed times and so added about an hour of sleep per night and were able to get more homework done during the day because of increased alertness and efficiency. In Massachusetts a change in middle-school start times for younger teens also proved beneficial. Students at a school with an 8:30 AM start time slept about one hour more, had less difficulty staying awake in school, and had better grades than students at a school with a 7:15 AM start time. A recent study at a private Rhode Island high school showed that shifting the start time from 8:00 AM to 8:30 AM increased the number of students getting 8 hours of sleep a night from 16% to 55%, improved attendance, and resulted in fewer visits by students to the health center. Mood improvements were also noted among the students.

(4) 1990年代にミネソタ州のいくつかの場所で学校の始業時間を変更すると、早い段階で好ましい結果が生まれた。学校にいる時間の長さは同じままにして、始業時間を午前7時15分から午前8時40分に、あるいは午前7時25分から午前8時30分に変えることで、都市部の生徒も郊外の生徒も学習や生活面での態度の改善が見られた。都市部の生徒は出席が増え、遅刻が減り、保健室の先生を以前ほど訪れなくなった。郊外の生徒は、規則正しい就寝時間を守る傾向があり、それによって睡眠時間が一晩につき1時間ほど増え、注意力と効率の向上により日中により多くの宿題を終わらせることができた。マサチューセッツ州では、10代前半の若者のために中等学校の始業時間を変更することも有益であることが分かった。始業時間が午前8時30分の学校の生徒は、始業時間が午前7時15分の学校の生徒よりも、およそ1時間余分に寝て、学校で苦勞しなくても起きることができ、成績も良かった。ロード・アイランド州の私立高校で最近行われた調査では、始業時間を午前8時から午前8時30分に移行することで、一晩に8時間睡眠をとる生徒の数が16%から55%に増え、出席が改善され、生徒が医療セ

ンターを訪れる回数が減ることが分かった。気分
の改善も、生徒の間で見られた。

- ・ location 「場所」
 - ・ Keeping the length of the school day the same but changing the start of the school day from 7:15 AM to 8:40 AM or from 7:25 AM to 8:30 AM 「学校にいる時間の長さは同じままにして、始業時間を午前7時15分から午前8時40分に、あるいは午前7時25分から午前8時30分に変えること」文の主語である動名詞句 Keeping ... same と changing ... 8:30 AM が but で並列されている。
keep A the same 「Aを同じままにしておく」
length 「長さ」
 - ・ improved functioning 「改善された学習や生活面での態度」ここでの functioning とは、「学習や生活面での態度」のことを意味している。
improved 「改善された」形容詞。
 - ・ urban 「都会の／都心部の」
 - ・ suburban 「郊外の」
 - ・ attendance 「出席」
 - ・ decreased 「減少した」
 - ・ lateness 「遅刻／遅れること」
 - ・ school nurse 「(学校の)保健室の先生／養護教諭」
 - ・ tend to-不定詞 「～する傾向がある／よく～する」
 - ・ regular 「いつもの／通常の」
 - ・ add 「加える」
 - ・ per A 「Aにつき」
 - ・ get A done 「Aを終わらせる」
- [例] You have to **get the work done** in a week.
1週間でその仕事を終わてしまわなければならない。
- ・ during the day 「日中／昼間に」
 - ・ because of A 「Aが原因で／Aのために」
 - ・ increased 「増加した」
 - ・ alertness 「注意力／油断のないこと」
 - ・ efficiency 「効率」
 - ・ middle-school 「中等学校の」
 - ・ prove+形容詞 「～だと分かる」
 - ・ beneficial 「有益な」
 - ・ have difficulty ~ing 「～するのに苦勞する」
- [例] She **had no difficulty making** herself understood in English.
彼女は英語で理解してもらうのに何も苦勞しなかった。
- ・ stay+形容詞 「～のままている」

- ・ awake 「目が覚めている」
- ・ grade 「成績」
- ・ recent 「最近の」
- ・ shift 「移行する／移す」
- ・ the number of A 「A の数」
- ・ health center 「医療センター／保健所」
- ・ mood 「気分／機嫌」
- ・ improvement 「改善」
- ・ note 「気づく」

◆第5段落◆

(5) Perhaps most dramatic of all were results from a school district in Fayette County, Kentucky. In the 1990s, after a change in start time from 7:30 AM to 8:30 AM, a decrease was found in car accident rates for 16-18 year olds in the Fayette County school district, while the rates actually increased in the rest of the state for the same age group. Given the danger posed to young people from car accidents, this is a strong reason in itself to change school start times.

(5) あらゆる結果の中でおそらく最も劇的なものが、ケンタッキー州フェイエット郡のある学区で得られた結果である。1990年代に、午前7時30分から午前8時30分に始業時間を変更した後、フェイエット郡学区内では16歳から18歳が自動車事故にあう割合の減少が見られたのに対し、州の他の地域では同じ年齢層の人が事故にあう割合が実は増加していたのである。自動車事故に若者があう危険を考えると、このこと自体が学校の始業時間を変更する有力な理由となる。

- ・ dramatic 「劇的な」
- ・ school district 「学区」
- ・ decrease 「減少」
- ・ rate 「割合」
- ・ ..., while SV ~ 「…だが、一方では～」
- ・ the rest of A 「A の残り」ここでは、フェイエット郡学区以外のケンタッキー州の地域のこと。
- ・ given A 「A を考えると／A を考慮すれば」

[例] Given the circumstances, you've done really well.

状況を考えると、君は本当によくやった。

- ・ the danger posed to young people from car accidents 「自動車事故に若者があう危険」 posed 以下は、the danger を修飾する過去分詞句。
- pose A to B 「B に A を引き起こす」

- ・ in itself 「それ自体」

◆第6段落◆

(6) There are, of course, some potential negative effects associated with later start times and longer sleep periods. It can be disruptive to parents' work schedules, result in shortened times for after-school activities such as sports and clubs, and cause students to get home later in the day; it may also impact hours available for after-school jobs. These challenges may be more difficult to deal with in some settings than others. For example, parents in suburban schools may have greater difficulty coping with the changes in transportation and work schedules than those in an urban setting. But on the whole, the benefits outweigh the costs of making this change. Simply adjusting school start times means that far fewer students would be short of sleep in America.

(6) もちろん、より遅い始業時間やより長い睡眠時間と関連する好ましくない影響が生じる可能性もある。親の仕事の予定を狂わせ、スポーツやクラブといった放課後の活動の時間が短くなり、生徒が日中のより遅い時間に帰宅する原因になりかねないし、放課後のアルバイトに使える時間にも影響を与えるかもしれない。こうした課題は、環境によっては対処するのがより困難であろう。たとえば、郊外にある学校の親は、都会的な環境にいる親と比べて、交通手段や仕事の予定の変更に対応するのにより苦勞するかもしれない。しかし、総合的に考えると、このような変更を行う損失よりも恩恵の方が上回る。学校の始業時間を調整するだけで、睡眠不足の生徒の数はアメリカではずっと少なくなるだろう。

- ・ some potential negative effects associated with later start times and longer sleep periods 「より遅い始業時間やより長い睡眠時間と関連する好ましくない影響が生じる可能性」 associated 以下は、effects を修飾する過去分詞句。
- potential 「可能性を秘めた／潜在的な」
- negative 「好ましくない／否定的な」
- effect 「影響／効果」
- associated with A 「A と関連する／A と結びつけて考えられる」
- ・ disruptive 「混乱させる／破滅的な」
- ・ shorten 「短くする」

- ・ cause A to-不定詞「A に～させる原因となる」
- ・ impact 「影響を与える」
- ・ hours available for after-school jobs 「放課後のアルバイトに使える時間」 available 以下は hours を修飾する形容詞句。
available 「利用可能な」
- ・ challenge 「課題／難題」
- ・ deal with A 「A に対処する」
- ・ setting 「環境／背景」
- ・ others=other settings
- ・ cope with A 「A に対処する／A をうまく処理する」
- ・ transportation 「交通手段／輸送」
- ・ on the whole 「総合的に考えると／全体から見て」

【例】 We have our bad times but **on the whole** we're fairly happy.

私たちはうまくいかないときもありますが、
全体的には、かなり幸せです。

- ・ benefit 「恩恵」
- ・ outweigh 「勝る」
- ・ cost 「損失／代償」
- ・ adjust 「調整する」
- ・ far+比較級「(比較級を強めて)はるかに～」
- ・ be short of A 「A が不足している」

【設問別解説】

A

問1 第1段落によると、生徒にとって、始業時間を遅らせることは **46** であろう。

- ① 有益な変化
- ② かすかな変化
- ③ 突然の変化
- ④ ひどい変化

第1段落第4～6文 So, do later school times really help high school students? Based on accumulating evidence, the answer is clearly yes. Increasing numbers of studies conducted in various parts of the country show that a change in the start time of the school day can make a significant positive change in the lives of students. 「それでは、始業時間が遅い方が本当に高校生のためになるのだろうか？ 蓄積されつつある証拠に基づけば、その答えは明らかにイエスである。全米各地で行われているますます多くの調査が、授業日の開始時間を変えることで、生徒の生活にかなり大きな好ましい変化が現れる可能性があることを示している」より、①が正解。

問2 第2段落では、**47** ことを示唆している。

- ① 今日の10代の若者の睡眠時間がおよそ8時間半から9時間半である
- ② 今日の10代の若者の睡眠時間が8時間半未満である
- ③ 今日の10代の若者の睡眠時間が9時間半より長い
- ④ 今日の10代の若者の睡眠時間がわずか6時間である

第2段落第3・4文 This research indicates that adolescents need about 8.5 to 9.5 hours of sleep a night. If you know any teenagers today, you realize that very few are getting anywhere near this amount. 「この研究では、青年期にある人は一晩におよそ8時間半から9時間半の睡眠を必要としていることが示されている。今の10代の若者に知り合いがいれば、この時間に少しでも近い睡眠をとっている者はごく少数であることが分かるだろう」より、②が正解。④は、「若者の睡眠時間はわずか6時間である」という記述が本文にないので、不正解。

問3 第4段落で、いくつかの実験の結果が説明されているのは、**48** ためである。

- ① 生徒が一晩何時間眠るべきなのかを説明する
- ② 朝早い始業時間の方が、より遅い始業時間よりも有益であることを例証する
- ③ 公立学校と私立学校の違いを証明する
- ④ 始業時間を遅くすることで、どのような効果が生じる可能性があるのかを示す

・ delay 「遅らせる」

第4段落では、「ミネソタ州とマサチューセッツ州、ロード・アイランド州で始業時間を遅らせたことで、いずれも好ましい効果が生まれた」ということが述べられている。したがって、④が正解。

問4 第6段落は、遅い始業時間が **49** 可能性があることを示している。

- ① 生徒だけでなく、家族の日常生活にも影響を与える
- ② 生徒に、車を使うのではなく、歩いて学校に通うようにさせる
- ・ instead of ~ing 「～する代わりに／～しないで」
- ③ 一部の親を失業させたり、転職させたりする
- ④ 生徒と家族両方の健康につながる

第6段落第2文 It can be disruptive to parents' work schedules, result in shortened times for after-school activities such as sports and clubs, and cause students to get home later in the day; it

may also impact hours available for after-school jobs. 「親の仕事の予定を狂わせ、スポーツやクラブといった放課後の活動の時間が短くなり、生徒が日中のより遅い時間に帰宅する原因になりかねないし、放課後のアルバイトに使える時間にも影響を与えるかもしれない」より、①が正解。

問5 この文章が主に述べていることは、学校の始業時間が遅くなると、**50** ということである。

- ① ずっと多くの生徒が眠れない夜を過ごすことになりかねない
- ② アメリカのあらゆる学校の時間割を調整するのに多額のお金がかかるだろう
- ③ この変化が混乱を招くものであるため、学校が親に協力してもらうことができなくなるだろう
- ④ 欠点より利点のほうが多いだろう

第1段落第4・5文に So, do later school times really help high school students? Based on accumulating evidence, the answer is clearly yes. 「それでは、始業時間が遅い方が本当に高校生のためになるのだろうか？ 蓄積されつつある証拠に基づけば、その答えは明らかにイエスである」とあり、第2段落以降でこれまでに行われた、高校生が必要とする睡眠時間に関する研究や、始業時間を遅らせることで好ましい結果が生じたさまざまな調査について述べられている。最終段落では、好ましくない影響について述べた上で、最後に ... on the whole, the benefits outweigh the costs of making this change. Simply adjusting school start times means that far fewer students would be short of sleep in America. 「総合的に考えると、このような変更を行う損失よりも恩恵の方が上回る。学校の始業時間を調整するだけで、睡眠不足の生徒の数はア

メリカではずっと少なくなるだろう」とある。したがって、④が正解。

B

段落	内容
(1)	51 ②かなりの証拠によって裏付けられた仮定
(2)	52 ⑤遅い始業時間が生徒の学習に与える効果
(3)	これまでの研究の簡単な要約
(4)	53 ④生徒の学校生活に与える好ましい効果
(5)	54 ①遅い始業時間の安全面での大きな利点
(6)	55 ③遅い始業時間の長所と短所

第1段落では、「アメリカで、遅い始業時間の方が高校生には有益であるということが、多くの調査で裏付けられている」ということが述べられているので、**51** は②が正解。第2段落では、「遅い始業時間によって、高校生がもっと睡眠をとることができるようになれば、学習に役立つ」ということが述べられているので、**52** は⑤が正解。第4段落では、「ミネソタ州とマサチューセッツ州、ロード・アイランド州で、遅い始業時間によって、生活態度や学習、健康などの面で好ましい効果が生まれた」ということが述べられているので、**53** は④が正解。第5段落では、「ケンタッキー州のある郡で、遅い始業時間によって、16歳から18歳が自動車事故にあう割合の減少が見られた」ということが述べられているので、**54** は①が正解。第6段落では、「遅い始業時間による恩恵が、好ましくない影響を上回る」ということが述べられているので、**55** は③が正解。

